

北関東自動車道側道道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

よこ
横徳
て
手丸
ゆ
湯仲
でん
田田
V 遺跡
IV 遺跡

2001

前橋市埋蔵文化財発掘調査団

序

前橋市は、北に赤城山、西に榛名山、南西に妙義山の上毛三山がそびえ、その赤城山と榛名山の裾野の間を南北に利根川が流れる水と緑にあふれた地であります。

前橋は古代よりの豊かな文化あふれる地であり、東国の奈良と称されています。今から2万8千年前の旧石器を始めとして、10基を数える国指定の古墳、関東の華とうたわれた前橋城、明治からの近代化を示す昭和庁舎等の近代化遺産など多くの文化財が残されています。

自然環境に恵まれたこの地では、古代からの人々の生活の跡が市内のはほぼ全域に残されています。古代の人々の暮らした家の跡、使った石器や土器などの道具や、水田跡なども多く、毎年の埋蔵文化財発掘調査により多くの新しい発見があります。

前橋市南部を東西に横断する北関東自動車道は、その建設に伴う発掘調査で多くの新しい遺跡が発見され、地域の歴史解明に重要な資料となりました。

本年度調査の横手湯田V・徳丸仲田IV遺跡では、暑さと降水・湧水に悩まされつつ、古墳時代及び平安時代の水田を調査いたしました。

発掘調査にあたりまして、ご協力をいただきました市北関東自動車道対策室、県文化財保護課、県埋蔵文化財調査事業団、地元関係者、酷暑のなか調査に従事されました皆様に感謝とお礼を申し上げます。

平成13年3月

前橋市埋蔵文化財発掘調査団
団長 阿部 明雄

例　　言

1. 本書は北関東自動車道側道道路改良事業に伴い、記録保存のために事前調査された横手湯田V遺跡、徳丸仲田IV遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、前橋市埋蔵文化財発掘調査団（団長 阿部 明雄）が受諾したもので、発掘調査は委託を受けた山武考古学研究所が埋蔵文化財発掘調査団の指導のもとに実施した。
3. 発掘調査は平成12年5月16日より平成13年3月9日の間に実施した。
4. 遺跡の呼称は埋蔵文化財発掘調査団の指導により、本文掲載の表（表1）の通りに行われている。
5. 遺跡の所在地および調査面積・担当者は、以下の通りである。

遺跡名	所在地	調査面積	調査担当者（山武考古学研究所）
横手湯田V遺跡	前橋市横手町375他	1,744m ²	常深尚 野平伸一
徳丸仲田IV遺跡	前橋市徳丸町74-1他	540m ²	長谷川秀久

6. 本書の編集・執筆は、I序章第1章を井野誠一が、その他を野平伸一が行った。
7. 本調査において得られた図面・写真等の記録類、及び遺物は、前橋市教育委員会で保管している。
8. 調査に際しては下記の諸機関にご指導・ご協力をいただいた。

前橋市教育委員会 群馬県埋蔵文化財調査事業団 須賀工業株式会社 前橋文化財研究所 J・T空撮
新成田総合社

9. 発掘調査及び整理調査参加者

高橋由治 堀越道男 堀越律子 新保梅男 神山祐吉 落合忠雄 柳井肇 織間芳江 中嶋幸見
名塚久枝 青木千賀子 根津珠代 糸井重信 都丸主女作 中沢常雄 中沢嘉世子 中島房雄
桜井れい 宇津木明子 今成勝子 磯洋子 三友昭彦 今成達哉
岡田うめ 萩原真理子 嶋村幸子

凡　　例

1. 掲図中に使用した北方位は座標北である。
2. 掲図第1図には建設省国土地理院発行5万分の1地形図（前橋・高崎）、第2図には明治21年陸地測量部発行2万分の1地方迅速図（伊勢崎町・倉賀野驛）、第3・4図には前橋都市計画課発行の2千5百分の1現形図『75・76』を使用した。

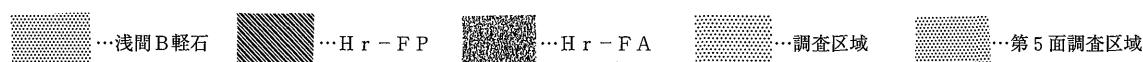
3. 遺跡の略称は以下の通りである。

横手湯田V遺跡 12G34 徳丸仲田IV遺跡 12G37

4. 使用した略称は以下の通りである。

A - 畦畔 D - 土坑 W - 溝 リ - 流路 ス - 鋤先痕 フ - 不明遺構 Pグ - ピット群 P - ピット
北 - 北区 南 - 南区 I - 第1面 II - 第2面 III - 第3面 IV - 第4面 V - 第5面
F A - 榛名二ツ岳渋川テフラ F P - 榛名二ツ岳伊香保テフラ

5. 掲載したスクリーントーンは以下を示す。



目 次

序	
例言	
凡例	
目次	
抄録	
I 序章	
第1章 調査に至る経緯	1
第2章 環境	
第1節 地理的環境	1
第2節 歴史的環境	3
II 横手湯田V遺跡	
第1章 調査の方法と経過	
第1節 調査の方法	5
第2節 調査の経過	5
第2章 基本層序	6
第3章 遺構と遺物	7
第1節 第1面 中世	7
第2節 第2面	
浅間B軽石下水田	7
第3節 第3面	
F P下遺構確認面	7
第4節 第4面 F A下水田	7
第5節 第5面	
古墳時代前期遺構確認面	7
第4章 まとめ	16
III 徳丸仲田IV遺跡	
第1章 調査の方法と経過	
第1節 調査の方法	17
第2節 調査の経過	17
第2章 基本層序	18
第3章 遺構と遺物	
第1節 第1面	
浅間B軽石下水田	21
第2節 第2面	
浅間C混土層上遺構確認面	21
第3節 第3面	
浅間C混土層下遺構確認面	21
第4章 まとめ	21
写真図版	
出土遺物及び図面等の取り扱いについて	

挿図目次

第1図 遺跡の位置と周辺遺跡	2
第2図 遺跡の位置	2
第3図 横手湯田V遺跡 調査区域図	4
第4図 徳丸仲田IV遺跡 調査区域図	4
第5図 基本層序図	6
第6図 任意基準杭設定図	6
第7図 第1面 遺構・全体図	8
第8図 第2面 遺構・全体図	9
第9図 第3・4面 遺構・全体図	11
第10図 第5面 全体図	13
第11図 出土遺物1	15
第12図 出土遺物2	16
第13図 基本層序図	18
第14図 1号鋤先痕	18
第15図 第1~3面 遺物・遺構・全体図	19

表目次

表1 遺跡呼称一覧表	1
表2 周辺遺跡一覧表	3
表3 横手湯田V遺跡 第1面中世水田畦畔計測表	22
表4 横手湯田V遺跡 第2面浅間B軽石下水田畦畔計測表	22
表5 横手湯田V遺跡 第3面F P下畦畔状遺構計測表	22
表6 横手湯田V遺跡 第4面FA下水田畦畔計測表	22
表7 横手湯田V遺跡 第4面FA下水田面計測表1	22
表8 横手湯田V遺跡 第4面FA下水田面計測表2	23
表9 横手湯田V遺跡 土坑計測表1	23
表10 横手湯田V遺跡 土坑計測表2	24
表11 横手湯田V遺跡 溝計測表1	24
表12 横手湯田V遺跡 溝計測表2	25
表13 横手湯田V遺跡 遺物観察表1	25
表14 横手湯田V遺跡 遺物観察表2	26
表15 徳丸仲田IV遺跡 第1面浅間B軽石下水田畦畔計測表	26
表16 徳丸仲田IV遺跡 鋤先痕計測表	26
表17 徳丸仲田IV遺跡 溝計測表	26
表18 徳丸仲田IV遺跡 不明遺構計測表	26
表19 徳丸仲田IV遺跡 遺物観察表	26

図版目次

図版1 横手湯田V遺跡 遺構写真	
図版2 横手湯田V遺跡 遺構写真	
図版3 横手湯田V遺跡 遺構写真	
図版4 横手湯田V遺跡 遺構写真	
図版5 横手湯田V遺跡 遺物写真	
図版6 徳丸仲田IV遺跡 遺構・遺物写真	

抄 錄

フ リ ガ ナ	ヨコテユデンゴイセキ・トクマルナカダヨンイセキ
書 名	横手湯田V遺跡・徳丸仲田IV遺跡
編 著 者 名	井野 誠一 野平 伸一
編 集 機 関	山武考古学研究所 / 〒286-0045 千葉県成田市並木町221
発 行 機 関	前橋市埋蔵文化財発掘調査団 / 〒371-0018 群馬県前橋市三俣町二丁目10-2
発 行 年 月 日	西暦2001年3月9日

フリガナ 所収遺跡名	フリガナ 所 在 地	コード		位置		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
ヨコテユデンゴ 横手湯田V	群馬県前橋市 横手町375他	10201	12G34	36° 19' 44"	139° 05' 16"	20000516 ～ 20010309	1,744m ²	北関東自動 車道側道道 路改良事業 に伴う埋蔵 文化財発掘 調査
トクマルナカダヨン 徳丸仲田IV	群馬県前橋市 徳丸町74-1他	10201	12G37	36° 19' 52"	139° 06' 35"	20000516 ～ 20010309	540m ²	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
横手湯田V	水田跡 他	古墳時代 ～中世	水田跡（畦畔等）、 土坑、溝、ピット群、 ピット	後期縄文土器（鉢）、打製石斧、 弥生末葉土器（壺）、土師器 (壺・甕・台付甕・高壺・器 台・埴)	
徳丸仲田IV	水田跡 他	古墳時代 ～ 平安時代	水田跡（畦畔等）、 溝、不明遺構、ピッ ト	土師器（壺）、木製品	

I 序 章

第1章 調査に至る経緯

北関東自動車道は、前橋市南部を横断する建設事業であるが、周辺の遺跡については、従前の資料が少なく、平成5年度より県教委と市教委とで調査を実施して遺跡の所在と性格の調査を行った。その結果、開発予定地の約80%程度が遺跡と判断され、その後の試掘確認調査を経て発掘調査が実施されるに至っている。

本線は平成7年度から県事業団により発掘調査が実施され、側道は市調査団により平成9年度から発掘調査が行われている。

平成12年度は、平成12年4月7日付で前橋市長 萩原 弥惣治より横手町他の発掘調査依頼が前橋市教育委員会教育長 早部 賢一郎あてにあり、平成12年4月11日付で前橋市教育委員会 教育長より前橋市長あてに調査受諾の回答と埋蔵文化財発掘調査団団長 阿部 明雄あてに発掘調査実施の通知が送付され、調査団と事業者間で調査の協議が行われた。

調査の協議に基づき平成12年4月27日付で発掘調査の委託契約書が締結された。

その後、事業者との協議の結果に基づき調査の一部を民間調査機関に委託することとし、平成12年5月16日付で山武考古学研究所との間で発掘調査委託契約が締結された。

表1 遺跡呼称一覧表

遺跡名	調査年度	調査主体	備考
横田湯田遺跡	平成8年～10年度	群馬県埋蔵文化財調査事業団	北関東自動車道本線
横田湯田Ⅱ遺跡	平成9年度	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	横手鶴光路線道路
横田湯田Ⅲ遺跡	平成9年度	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	北関東自動車道側道
横田湯田Ⅳ遺跡	平成9年度	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	横手鶴光路線道路
横田湯田Ⅴ遺跡	平成12年度	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	北関東自動車道側道
徳丸仲田遺跡	平成9・10年度	群馬県埋蔵文化財調査事業団	北関東自動車道本線
徳丸仲田Ⅱ遺跡	平成9年度	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	北関東自動車道側道
徳丸仲田Ⅲ遺跡	平成10年度	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	北関東自動車道側道
徳丸仲田Ⅳ遺跡	平成12年度	前橋市埋蔵文化財発掘調査団	北関東自動車道側道

第2章 環境

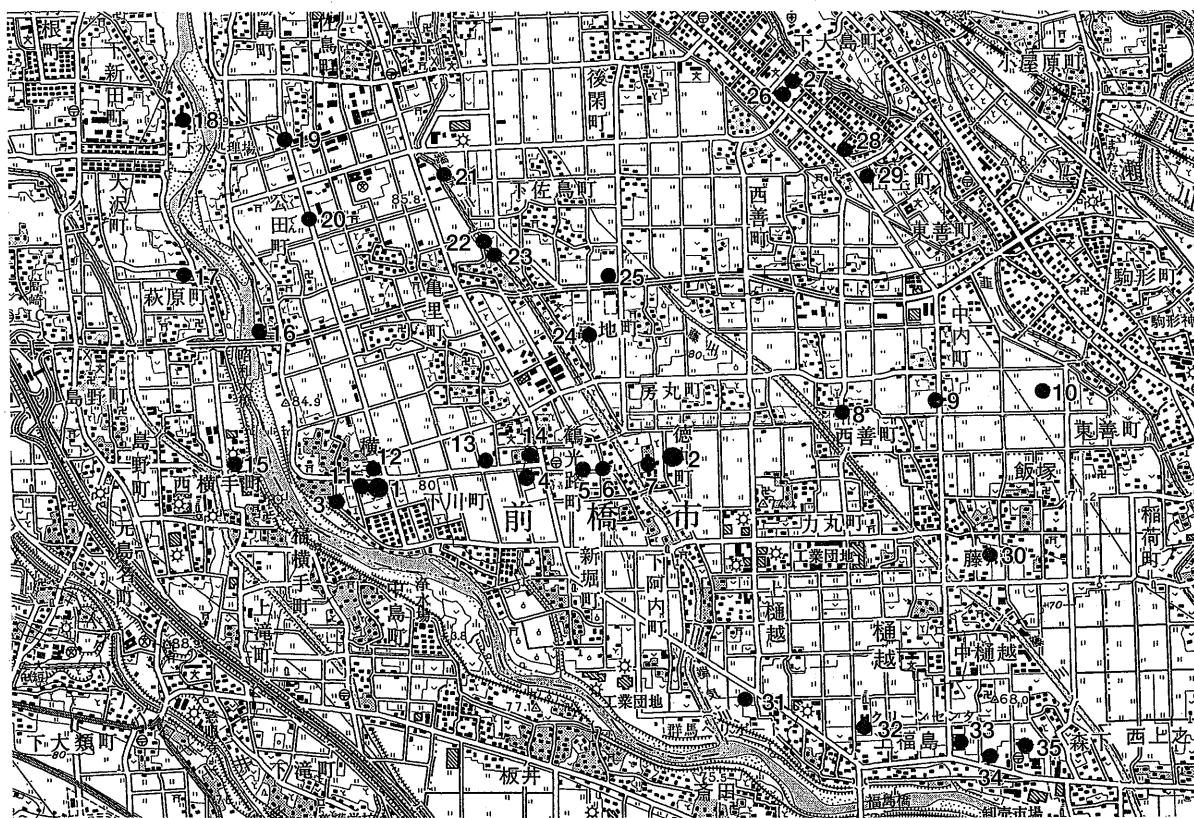
第1節 地理的環境

前橋市は北に赤城山がそびえ、南方は関東平野が広がり、ちょうど山間部と平野部の境に位置している。

市域を地形別にみると、北は赤城山南斜面で赤城山山麓一帯に扇状地が広がる。赤城山山麓端部から前橋市街地北部にはこの扇状地を開析して形成された河成段丘がある。南には前橋台地が広がっており、河川の開析などによって微高地と後背湿地が入り組んでいる。赤城山麓と前橋台地の間には旧利根川流路の広瀬川低地帯があり、幅約3km、長さ約30kmの細長い沖積低地が形成されている。

横手湯田Ⅴ遺跡は前橋台地上に立地し、JR前橋駅から南へ約5.7kmに位置する。標高は約80mで地形は北西から南東へやや下る。西方約350mでは、現在の利根川が前橋台地の中央を縫うように、北西から南東方向に流下している。また、東方1.8kmでは端気川が南流し、南東で利根川と合流する。

徳丸仲田Ⅳ遺跡は前橋台地の東端付近に立地し、JR前橋駅から南東へ約6.5km、駒形駅の南西約2.9kmに位置する。標高は約75mである。利根川は南西約1.8kmを南東方向に流下している。西方約300mでは端気川が南流し、東方1.1kmでは藤川が南東へ流れ、それぞれ南方で利根川と合流する。



第1図 遺跡の位置と周辺遺跡 (S = 1 : 50,000、上が北)



第2図 遺跡の位置 (S = 1 : 20,000、上が北)

両遺跡周辺の利根川左岸台地上には横手・下川・鶴光路・徳丸・西善等の町々がある。北には県道27号高崎駒形線が東西に走り、これに南北に走る県道前橋玉村線や藤岡大胡線が交差している。周辺一帯は水田地帯が広がっている一方、これらの幹線道路に沿って徐々に市街化が進んでいる。北関東自動車道はこの町々を東西に横断するように建設されていて、今回の調査区も現況は水田や畑であったところである。

第2節 歴史的環境

本遺跡周辺は市街化が進むにつれて発掘調査が行われる遺跡が年々増えている。そこに加えて北関東自動車道の建設に伴い、本線及び側道部分は勿論のこと、それにアクセスする道路に伴う発掘調査も増え、新たな発見が相次いでいる。

横手湯田V遺跡に隣接する本線部分の横手湯田遺跡、アクセス道路の横手井戸南遺跡・横手早稲田遺跡では古墳時代から近世までの遺構が調査されている。遺構は水田の他、中世の屋敷跡や古墳時代の住居跡などが検出されている。遺物は古墳時代や中世のものが中心だが、横手湯田遺跡からは縄文時代に遡る土器片や石器が出土している。北関東自動車道関連の遺跡は前橋市では15以上にものぼり、数次にわたって調査が行われている。これらでは縄文から近世までの貴重な遺構・遺物が発見され、その中には縄文時代草創期の土器が出土した徳丸仲田遺跡などがある。

北にも生産遺跡は多く、公田池尻遺跡では浅間C軽石混層下水田跡、F A下水田跡、浅間B軽石下水田跡が検出されている。また、公田東遺跡や公田池尻遺跡では中世館跡の調査も行われている。他にも浅間B軽石下水田が検出された宮地中田遺跡や、古墳時代の住居跡が調査された川曲遺跡などがある。

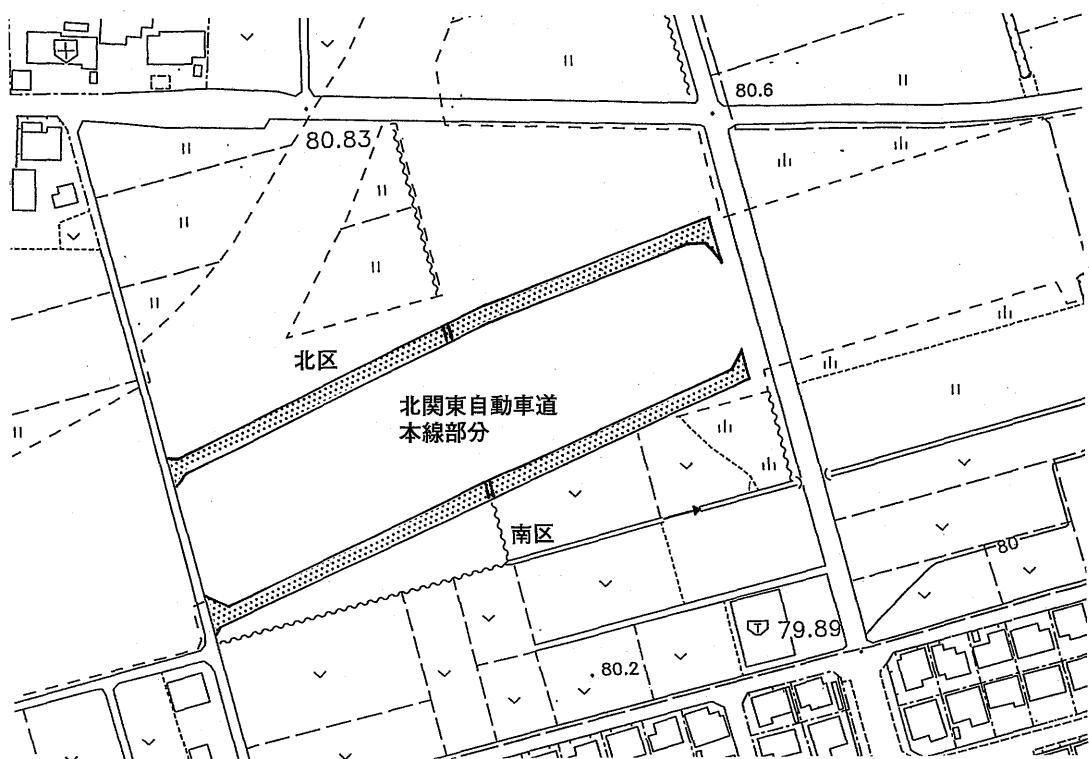
北東では、広瀬川右岸の前橋台地東縁辺上に、市内有数の帶状に連なる古墳群が存在し、亀塚山古墳や金冠塚古墳などが著明である。

南東でも浅間B軽石下水田が調査された藤川前遺跡や尾柄町遺跡などがある。

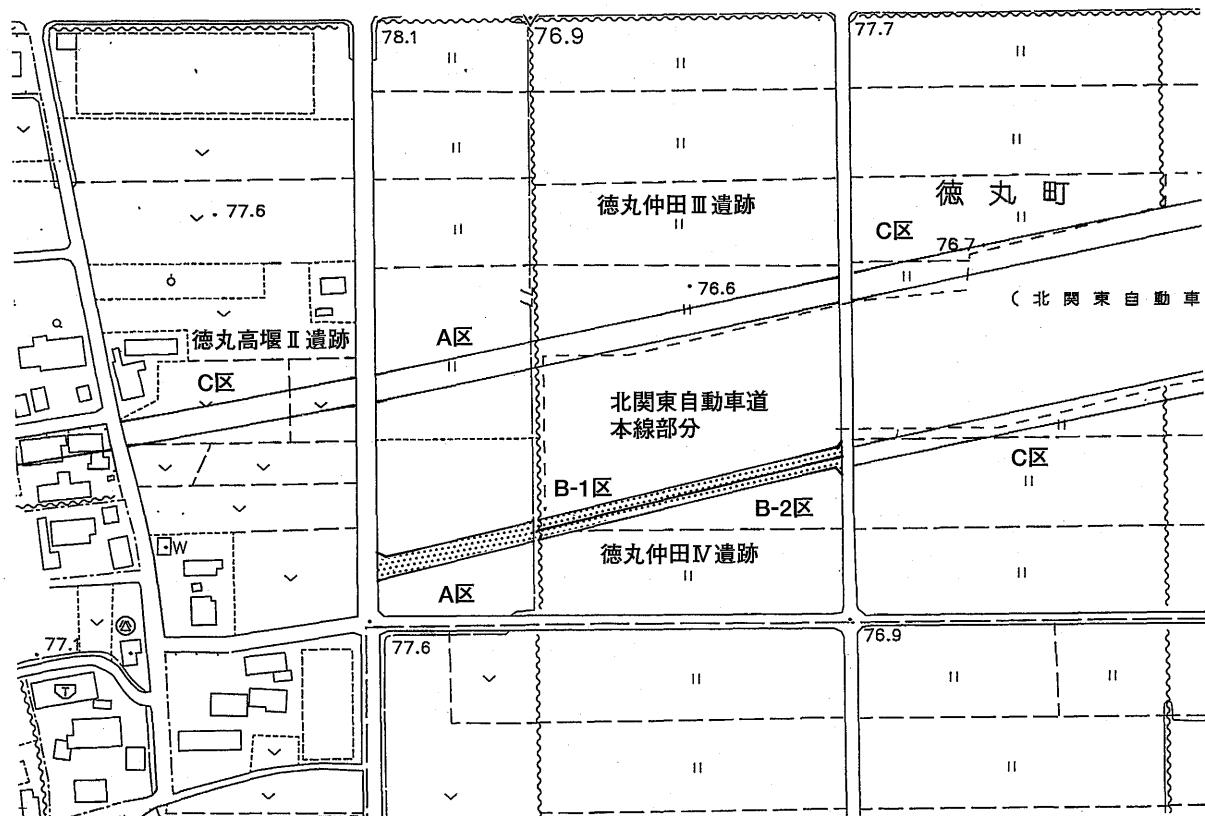
利根川対岸の西横手遺跡からは浅間C軽石下の弥生時代水田跡が検出されている。

表2 遺跡一覧表

番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名	番号	遺跡名
1	横田湯田V遺跡	2	徳丸仲田IV遺跡	3	横手井戸南遺跡	4	村中遺跡
5	西田遺跡	6	鶴光路榎橋遺跡	7	徳丸高堰遺跡	8	西善尺司遺跡
9	中内村前遺跡	10	前田遺跡	11	横手早稲田遺跡	12	横手宮田遺跡
13	鶴光路練引遺跡	14	下川淵小学校北遺跡	15	西横手遺跡	16	浅間神社古墳
17	萩原団地遺跡	18	下新田遺跡	19	公田東遺跡	20	公田池尻遺跡
21	下佐鳥遺跡	22	宿阿内城内遺跡	23	川曲遺跡	24	宮地中田遺跡
25	東田遺跡	26	木ノ宮遺跡	27	亀塚山古墳	28	金冠塚古墳
29	文殊山古墳	30	藤川前遺跡	31	柄田添遺跡	32	金免遺跡
33	尾柄町遺跡	34	一万田遺跡	35	神人村II遺跡		



第3図 横手湯田V遺跡 調査区域図



第4図 徳丸仲田IV遺跡 調査区域図

II 横手湯田V遺跡

第1章 調査の方法と経過

第1節 調査の方法

調査は本線部分である横手湯田遺跡の発掘調査を参考にして行った。

側道部分調査のため、調査区は北関東自動車道を挟んで南北に分かれ、それぞれ北区、南区とした。

残土置場の都合から、南北ともに東西での切り返し調査を行ない、先に西側、後に東側の調査を行った。

表土除去は重機により、第2面上の浅間B軽石（A s - B）上面まで行った。第1面（中世水田）については調査の都合上、調査区の壁面で畦畔を確認し、走行方向を推定する調査を行った。第2面（浅間B軽石）と第3面（F P）・第4面（F A）、第3面と第4面、第4面と第5面（古墳時代前期遺構確認面）の間に水田耕作土などの間層があり、これらは各遺構確認面の調査終了後に重機で掘り下げた。

周辺は水田で湧水が多く、湧水対策として調査区壁に沿って排水のための溝を掘り下げた。

基準杭は、切り返しごとに10m間隔の直線で任意に設定し、後に国家座標に合わせられるようにした。

各遺構確認面の火山テフラ及び遺構は人力で掘り下げ、隨時、写真・実測などの記録を行った。

写真は35mmカメラ2台で白黒、カラースライド、コンパクトカメラ1台でカラー、ラジコンヘリコプターで航空写真の撮影を行った。

実測図は平面図、土層断面図、エレベーション図を作成した。縮尺は状況に応じて1/20、1/40で記録した。全体図は平面図を縮小編纂して作成した。

各遺構面において出土した遺構外遺物は、10m間隔の基準杭ごとに、西から（1）、（2）…と番号を付して取り上げた。

遺構調査終了後は埋め戻しを行った。

第2節 調査の経過

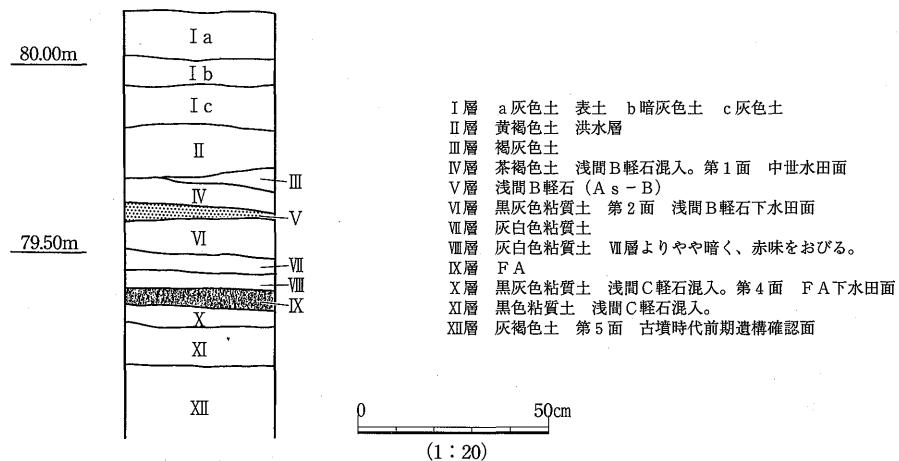
- 5月 上旬 発掘調査の開始。南・北区とも切り返し先行部の西側調査開始。第2面（浅間B軽石）までの表土除去。第2面遺構調査。第1面（中世水田）の遺構観察開始。
- 下旬 第3面（F P）及び第4面（F A）までの間層除去開始。第4面の遺構調査開始。
- 6月 上旬 第3面（F P）及び第4面（F A）までの間層除去終了。第3面の遺構調査。第3面と第4面の間層除去。
- 中旬 第4面の遺構調査終了。第4面の空撮。第5面（古墳時代前期）までの間層除去開始。第5面の遺構調査開始。
- 7月 上旬 第5面（古墳時代前期）までの間層除去終了。
- 8月 上旬 第5面（古墳時代前期）の遺構調査終了。切り返し残り部分の東側調査開始。第2面（A s - B）までの表土除去。第2面の遺構調査開始。
- 中旬 第2面の遺構調査終了。第3面（F P）・第4面（F A）は残りが悪く、検出されないため、第5面までの間層除去開始。第5面の遺構調査開始。
- 下旬 第5面までの間層除去終了。
- 9月 上旬 第5面（古墳時代前期）の遺構調査終了。調査区の埋め戻し開始。
- 中旬 調査区の埋め戻し終了。現場における発掘調査の終了。

第2章 基本層序

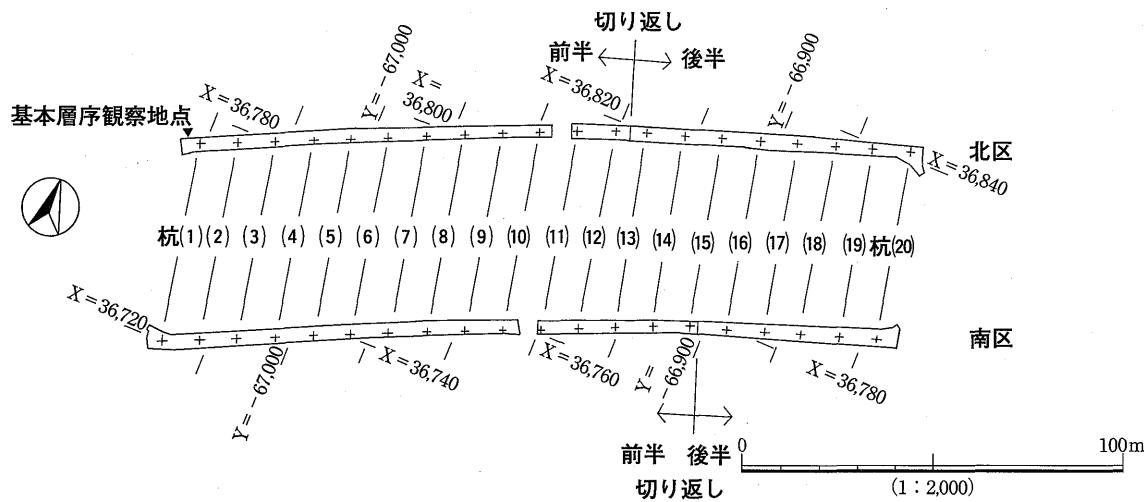
今回調査した遺構確認面は、第1面の中世水田面から、第2面浅間B軽石下水田面、第3面F P下遺構確認面、第4面F A下水田面、第5面古墳時代前期遺構確認面までの5面である。

洪水や火山テフラ等に起因する層が多いため、厳密には各層において幾層にも分層されるが、概略としては以下の通りである。

I層は表土で、その下はII層洪水層になる。その下はIII層に覆われた中世水田跡で、IV層の土を利用して畦畔が作られている。V層は浅間B軽石層でVI層が水田耕作土となる。VII層は灰白色土で、VIII層はそれよりやや暗く、赤味をおびる。IX層はF A層であるが、微高地部分や削平等により堆積していない所もある。特に東側では残りが悪い。調査区の一部からはF P層が検出され、それを除去した面を第3面として調査を行った。F P層の層序としてはVII層からIX層の間にあるが、VIII層との前後関係は不明である。X・XI層は浅間C軽石が混入している。XII層の上面では古墳時代前期の遺構が確認できる。この遺構の中には上のX・XI層から掘り込まれていると考えられるものもあるが、遺構確認はXII層上面でなければ難しい。



第5図 基本層序図



第6図 任意基準抗設定図

第3章 遺構と遺物

本遺跡で調査した遺構確認面は5面あり、各遺構確認面での調査結果は以下の通りである。

第1節 第1面 中世水田

中世水田跡の調査は、調査区壁面を精査し、確認された畦畔の土層断面から状況を把握する方法を主にして行った。

畦畔は南北に走行するものが北区で7条、南区で7条、東西に走行するものが南区で1条、走行方向不明のものが北区で3条、南区で2条確認された。調査区全体に水田跡は広がっている。

畦畔の他には溝が北区で3条、南区で3条検出された。1・3・8・61号溝は中世より新しく、7・98号溝は人為的なものではなく、上層の洪水層などによる地形の凹みの可能性がある。

第2節 第2面 浅間B軽石（As-B）下水田

本遺跡では浅間B軽石が東側の一部を除いて良好に堆積し、調査区全体に水田跡が検出された。

畦畔の他に北区で溝1条、土坑8基、ピット、南区で溝1条、土坑7基、ピットが検出されている。溝は2条とも畦畔に並行して検出されている。土坑は覆土から、本水田跡より新しく、中世水田より旧い。

第3節 第3面 FP下遺構確認面

調査区西側の一部では、下層が流路のため、周辺のFA下水田面に比較して地形が凹んでいる所がある。そこに堆積したFPは流出や削平を受けずに残っており、その下から畦畔状の高まりが北区で2条、南区で1条検出された。FPの堆積している範囲は数mで幅が狭いが、調査は水田跡として行った。しかし、水田跡ではない可能性もあるため、本報告ではFP下遺構確認面とする。畦畔状の高まりの他にはFP層を切る溝1条が検出された。調査区西側以外でFPは検出されなかった。

第4節 第4面 FA下水田

FAは南・北区共に東側は残りが悪く、西側で比較的良好に残っており、その下から水田跡が検出された。南区の東側では部分的にFAが検出されたが、残りが悪く、水田跡に伴う畦畔等の遺構は確認できなかった。

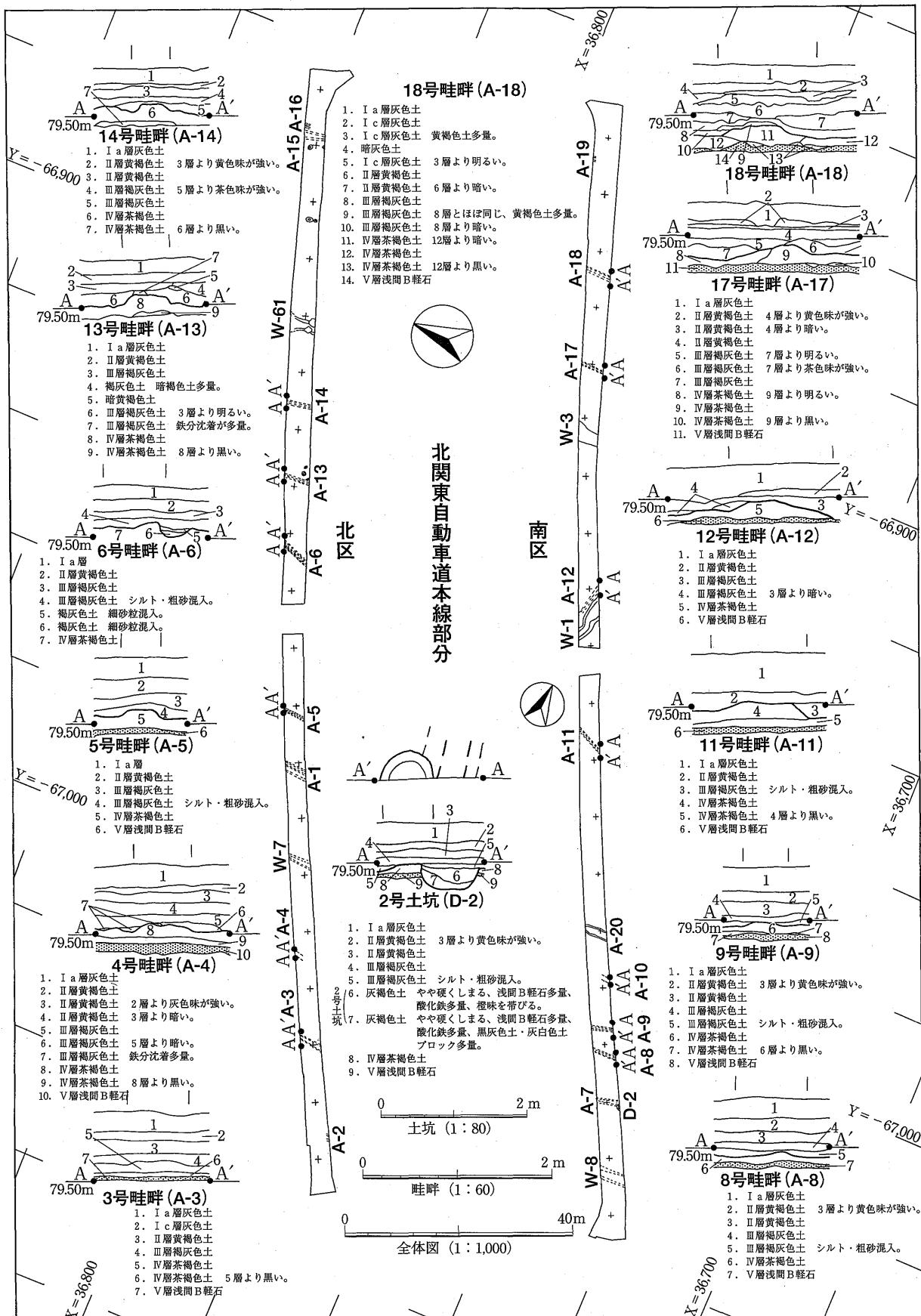
その他、北区で溝4条、土坑2基、南区で溝2条、土坑2基が検出された。畦畔に並行する6号溝以外の溝や土坑はFA層のない所での検出や畦畔を切るなどから、本水田跡よりは新しい。

第5節 第5面 古墳時代前期遺構確認面

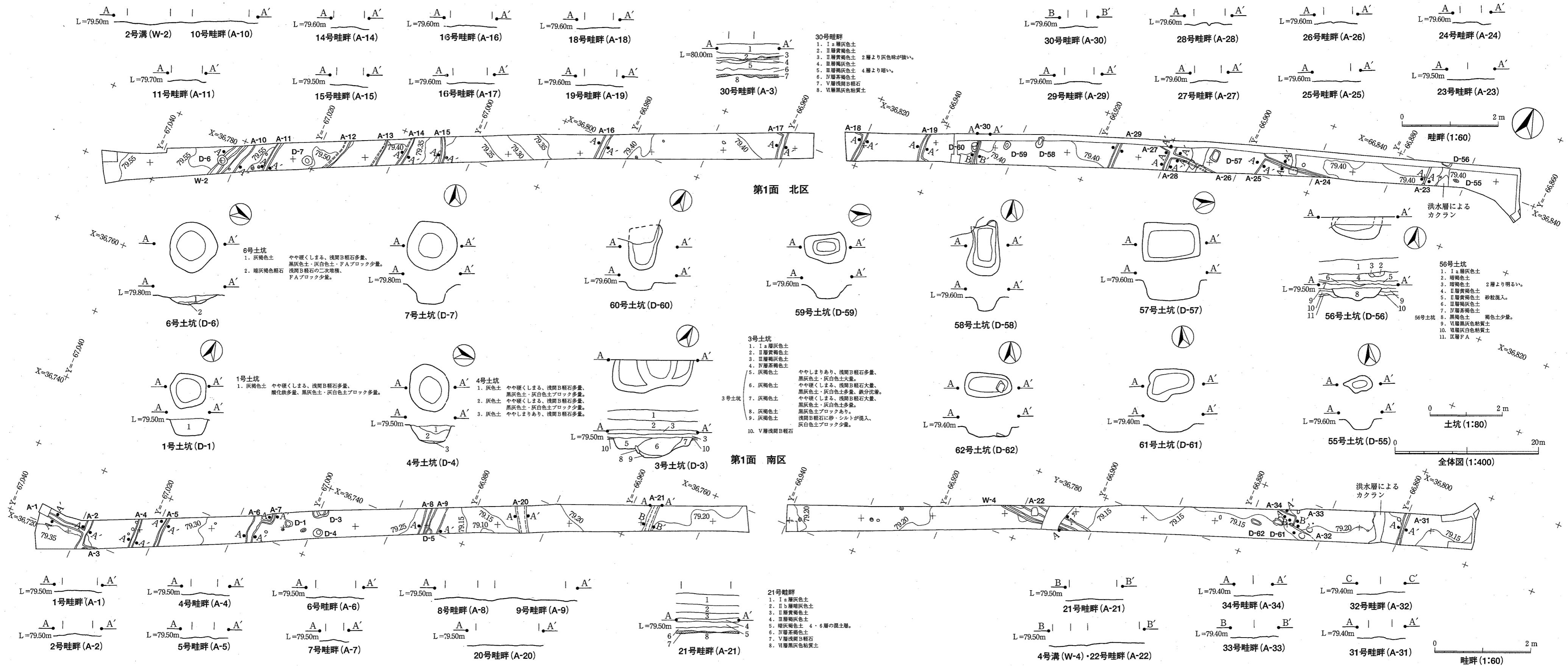
遺構は北区で溝53条、土坑24基、ピット群3か所、流路1か所、南区で溝28条、土坑29基、ピット群1か所、流路2か所が検出された。

遺構の一部には本確認面より上のX・XI層（黒色土）から掘り込まれていると思われるものがあるが、遺構確認が困難なため、本確認面まで掘り下げて調査を行った。また、東側ではIX層（FA）がなく、VII・VIII層（灰白色土）直下がXII層（本確認面）となる所があり、遺構によっては時期が第4面のものがあると思われるが、明確に判断できなかった。

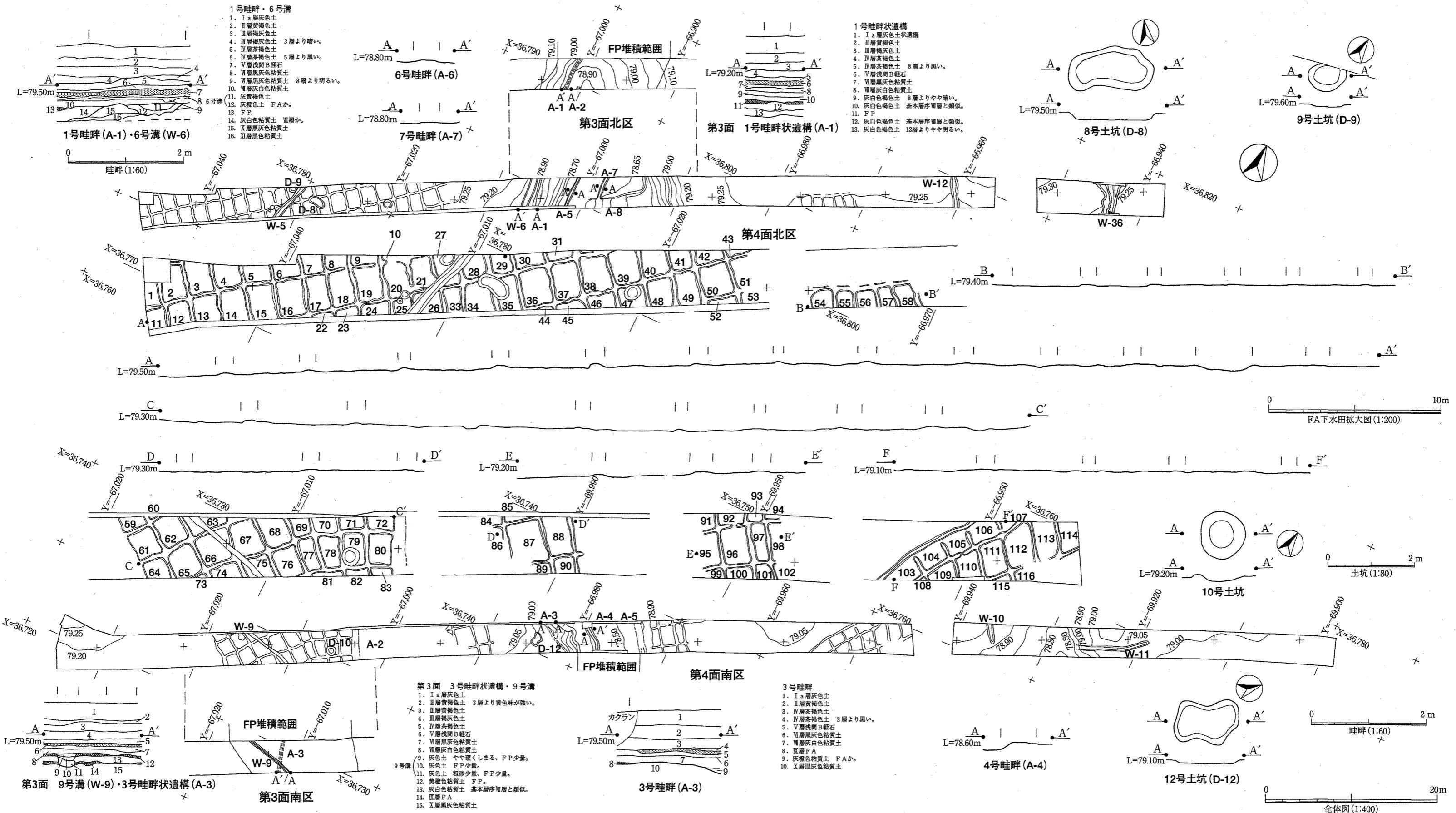
北区西側と南区西側で検出された流路は旧河道部分と思われるが、底部まで深く、危険なため、可能な限りの調査を行った。1号流路の上層からは櫛描き文のある土器など遺物が出土している。



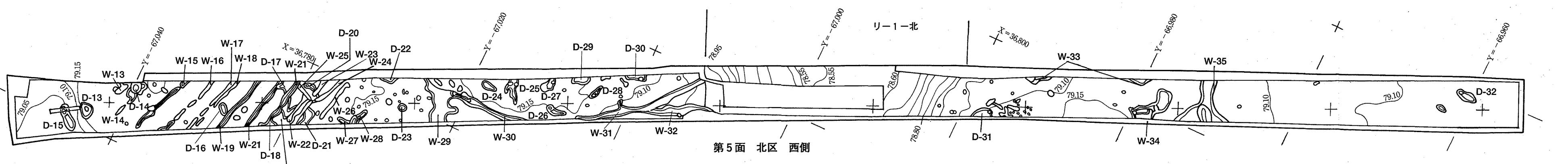
第7図 第1面 遺構・全体図（中世水田）



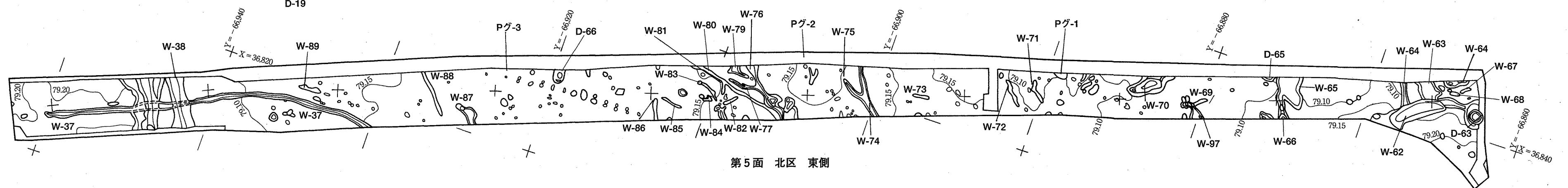
第8図 第2面 遺構・全体図（浅間B軽石下水田）



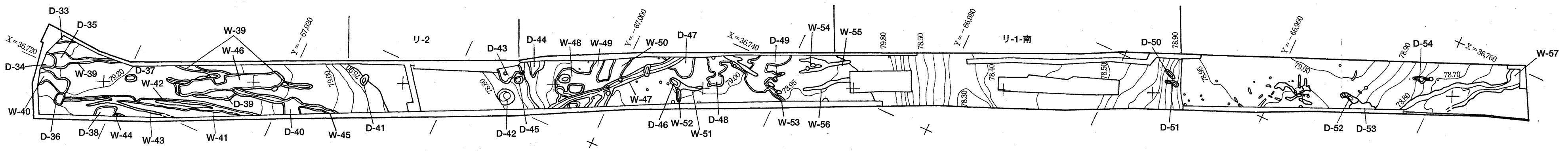
第9図 第3面・第4面 遺構全体図 (FP下遺構確認面・FA下水田)



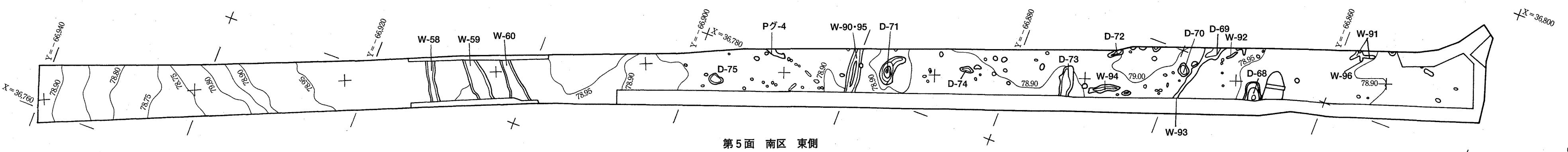
第5面 北区 西側



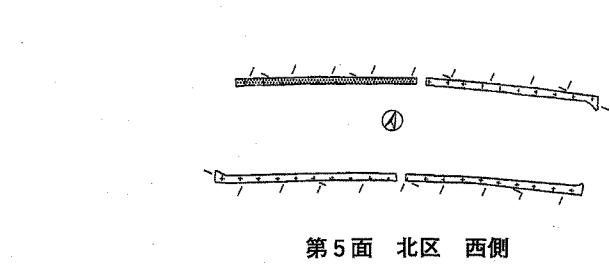
第5面 北区 東側



第5面 南区 西側



第5面 南区 東側



第5面 北区 西側

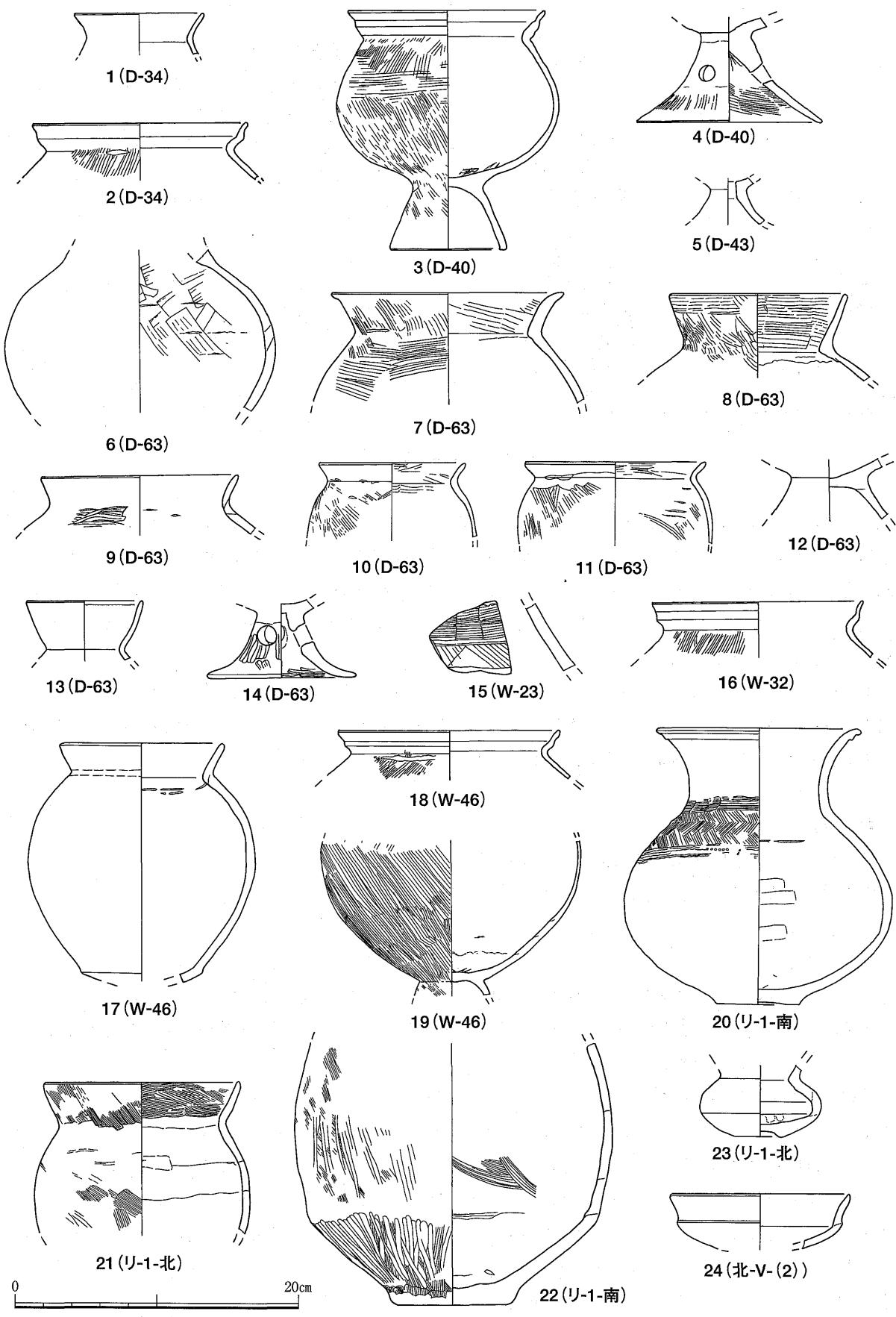
第5面 北区 東側

第5面 南区 西側

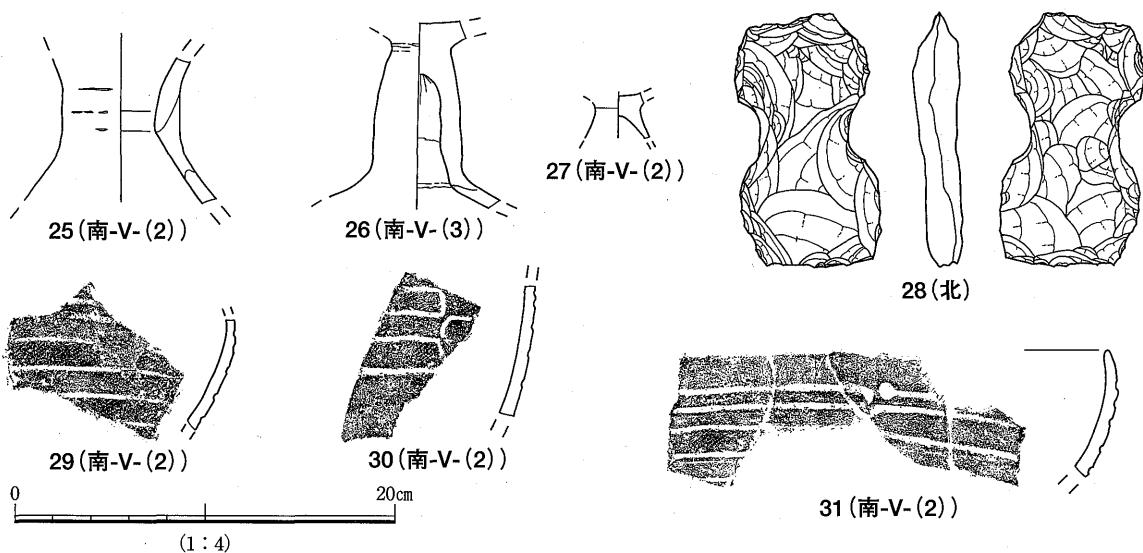
第5面 南区 東側



第10図 第5面全体図



第11図 出土遺物1



第12図 出土遺物 2

北区では西端で幅の狭い13・23・26号溝が平行に等間隔で検出されている。西側の流路周辺では溝や土坑が検出されている。34・35号溝は土坑等の遺構が重複している可能性がある。東側は溝やピットが比較的多い。65号溝は上層の一部にF A層が堆積している。東端では井戸状の63号土坑が検出されており、遺物も土師器の甕等、多量に出土している。ピットは掘立柱建物跡になるものはないが、縦列して検出されたところが3か所あり、ピット群として調査を行った。

南区西端では溝と土坑が検出されており、34・40号土坑や46号溝は遺物が比較的多量に出土している。流路周辺及び東側でも溝、土坑、ピットが検出されているが、遺物は西端に比較して少量である。95号溝はその上に90号溝が重複している。ピット群が1か所検出された。

第4章 まとめ

今回の調査では遺構確認面が5面あり、各時代を概観してまとめとする。

縄文時代の遺構は検出されなかったが、後期加曾利B 2式の土器（29～31）や打製石斧（28）が出土しており、周辺に縄文時代の遺跡が存在する可能性を示唆する。

弥生時代の遺構も検出されなかったが、南区1号流路の上層から弥生時代末葉と思われる土器（20）が出土している。これは胎土に輝石を多く含み、富岡周辺で出土する土器の特徴に類似している。

古墳時代の前期には、遺構・遺物の検出から、生活が営まれていたと推測できるが、今回の調査結果だけでは具体的な様相は不明である。

古墳時代でも時代が下り5世紀後半になると水田が作られ、一帯は生産域として活用されていく。その中で下層に流路（旧河道）がある部分は、畦畔間隔が約2.5～3.5mあり、他と比較して大きい。このように小区画水田が主に作られているが、小区画ではない部分もあり、土地の利用状況に差異が見られる。また、小区画水田の面積及び標高は北区西側で2.18～3.15m²、79.23～79.36m、北区東側で推定1.22m²以上、79.22～79.24m、南区西側で1.44～3.09m²、78.94～79.10m、南区中央西部分で推定2.96m²以上、79.12～79.15m、南区中央東部分で1.46～3.10m²、78.88～79.05m、南区東側で2.34m²、78.93～78.99mとなり小区画水田面の規模に違いがみられる。特に南区西側では、東と西で水田の面積や畦畔方向が著しく異なる。

平安時代末及び中世にも水田が営まれ、平安時代末の水田については条里水田の一面が垣間見られる。

III 徳丸仲田Ⅳ遺跡

第1章 調査の方法と経過

第1節 調査の方法

調査は、平成10年度に調査された、徳丸仲田Ⅲ遺跡・徳丸高堰Ⅱ遺跡の調査結果を把握した上で行った。

調査は便宜上、灌漑用水路の西側部分をA区・東側部分をB区とし、切り返し調査を行った。さらにB区は調査区内に残る農作物の都合により、南北を半分に分割して調査を行い、北をB-1区・南をB-2区として、切り返し調査を行った。

隣接する耕作地との境界には盛土をし、土手を設置した。

基準杭は、調査区が狭いため、東西直線上に10m間隔で任意に設定し、後に公共座標と照合させる事とした。杭には西から番号を付した。

調査は、重機を用いて表土除去及び間層除去を行ない、遺構は人力にて掘り下げ、精査を行った。また、必要に応じて堆積土層観察用トレンチを設け、基本堆積土層の確認を行った。

遺構及び出土遺物の記録は、縮尺1/20を基本に平面図・断面図を作成し、文化層ごとに縮尺1/40で各地区的全体図を作成したのち、同図を縮小編纂して全体図を作成した。

写真撮影は、調査の各段階で隨時行い、35mmカラーリバーサル及び35mmモノクロームフィルムで記録し、補完的に35mmカラーフィルムでも撮影した。

遺構調査終了後は埋め戻しを行った。

第2節 調査の経過

5月 中旬 現場事務所、物置、トイレの設置。発掘機材の搬入。調査区内5か所でトレンチによる土層確認。B-1区から調査開始。第1面浅間B軽石(A s-B)層までの表土除去。作業員の作業開始。B-1区第1面遺構調査。

下旬 B-1区において次の遺構面までの間層除去は、調査区が狭く深いため、重機の稼動が困難であった。そのため協議の結果、トレンチ調査とした。B-1区調査終了。A区第1面までの表土除去及び堆積土層確認のトレンチ掘り下げ。A区第1面遺構調査。

6月 上旬 A区の調査終了。農作物の都合により、B-2区の調査が行えるまで、調査を一時中断。

下旬 調査を再開。B-2区第1面までの表土除去。調査区東側は、第1面・第2面での遺構が検出されなかったので、第3面浅間C軽石(A s-C)混土層下までの表土除去。第1面遺構調査。

7月 上旬 FA層までの間層除去。FA層の残りが悪く、水田跡等の遺構は検出されなかった。

第2面浅間C軽石混土層上までの間層除去。第2面遺構調査。

中旬 第2面遺構調査終了。第3面までの間層除去。第3面遺構調査。全遺構調査を終了。現場事務所、物置、トイレの撤去。発掘機材の搬出。調査区の埋め戻し。現場における発掘調査終了。

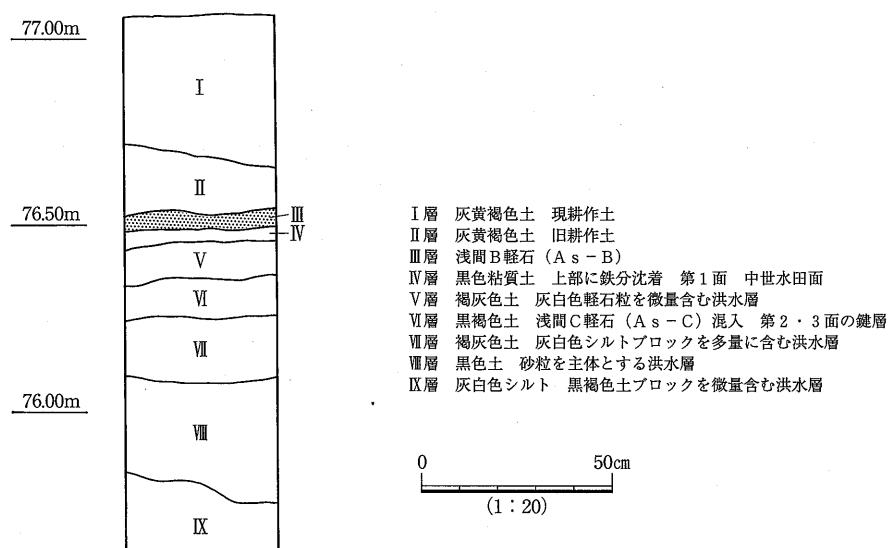
第2章 基本層序

今回調査した遺構確認面は、第1面浅間B軽石下水田面、第2面浅間C軽石混土層上、第3面浅間C軽石混土層下の3面である。

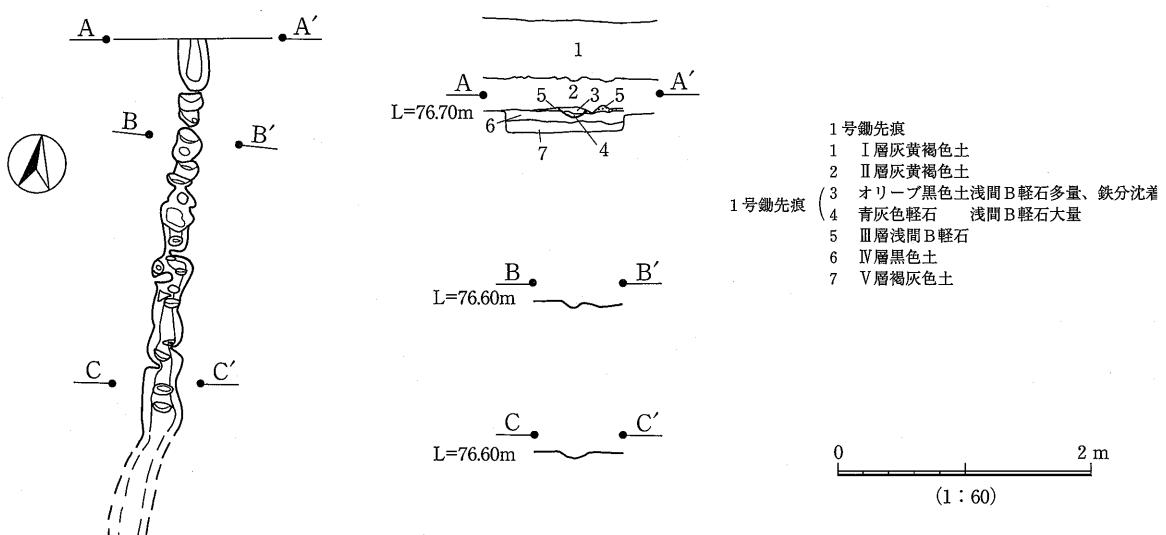
本来遺構確認の指標面となるFA層も、第1面から第2面へ掘り下げる段階にB区西側で部分的に検出されている。しかし、水田跡等の遺構が検出されなかつたため、FA下面は遺構確認面としてとらえず、本報告では遺構確認面は3面とした。

調査区が狭長で、また洪水や削平等により、場所によって層序の増減がある。概略は下記の通りである。

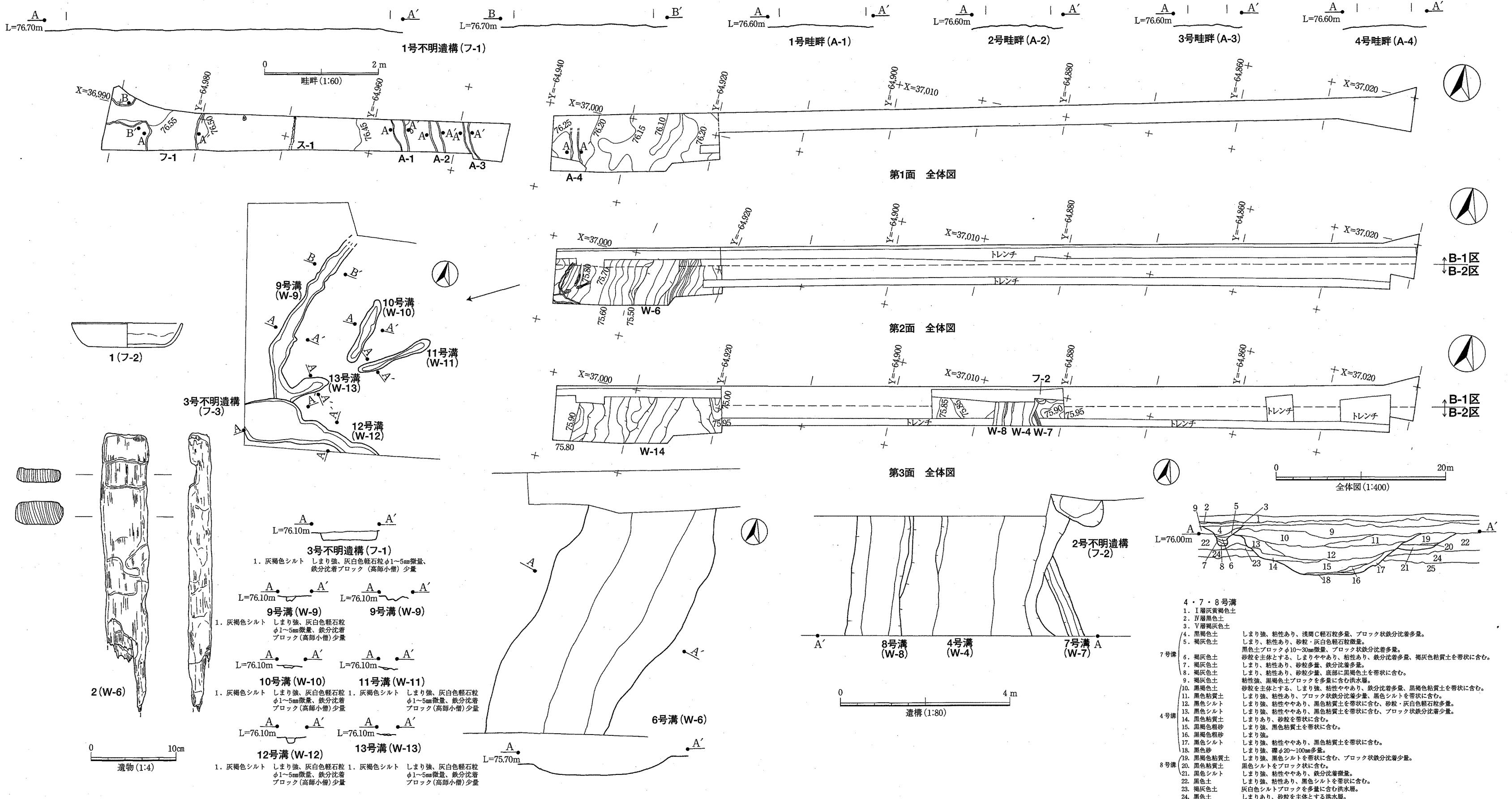
I層は表土で、その下II層は旧耕作土となる。III層は浅間B軽石層である。調査区の一部ではII層との間に浅間B軽石が多量に混入する層が検出する所もある。IV層は浅間B軽石下水田の耕作土となる。III・IV層は東側では検出されなかつた。V層は洪水層と思われる。VI層は浅間C軽石が混入している。遺構の掘り込みが、この浅間C混土層より上層か下層の層序かにより、一つの遺構確認面として第2・3面はとらえた。



第13図 基本層序図



第14図 1号鋤先痕



第15図 第1～3面 遺物・遺構、全体図

第3章 遺構と遺物

本遺跡では遺構確認面が3面あり、各遺構確認面での調査結果は以下の通りである。

F A層はB区西側で一部検出されたが、残りが悪く、水田跡などの遺構は検出されなかつたので、遺構確認面としてとらえなかつた。

第1節 第1面 浅間B軽石（A s-B）下水田

南北に走行する畦畔が4条、不明遺構が1基検出された。調査区の東側に向かうほど浅間B軽石の残りが悪い。A区西側では畦畔と考えるには幅の広い高まりが検出され、1号不明遺構とした。また、本確認面では浅間B軽石降下以後のピット2基と鋤先痕1か所が検出された。

第2節 第2面 浅間C軽石（A s-C）混土層上

B区で溝6条、不明遺構2基が検出された。西側で検出された6号溝の埋没土中には砂粒が堆積しており、水が流れていた可能性がある。遺物は土器片と木製品（2）が出土している。湿地のため木片が数点残っていたが、人為的なものはなかつた。9～11・13号溝は埋没土が同じで、底面に鋤先痕の様な凹凸がある。本確認面で検出された不明遺構は第1面で確認された1号不明遺構とは違い、地山を掘り込んだもので、土坑や溝の可能性がある。2号不明遺構の確認は本確認面で行えたが、平面形の調査は第3面で行った。3号不明遺構からは土師器坏（1）が出土している。

第3節 第3面 浅間C軽石（A s-C）混土層下

B区で溝4条が検出された。東側では4・7・8号溝が重複しており、7号溝が最も新しく、4号溝が最も旧い。14号溝は南北に走行する幅の広い溝である。4・7・14号溝は埋没土中に砂粒が堆積しており、水の流れていた可能性がある。

第4章 まとめ

今回の調査では遺構確認面が3面あり、各時代を概観してまとめとする。

古墳時代の状況としては、浅間C軽石混土層の上下で時期が分かれるが、狭長な調査区内に溝と不明遺構が検出されたのみで、全体像を把握するまでには至らない。溝の中には水が流れた可能性があるものもあり、生産域の一部に関連するのであろう。

平安時代末には生産域として、水田が営まれていた。周辺の調査結果からこの辺一帯は条里水田が大規模に広がっているようである。

中世では周辺で館跡等の遺構が検出しているが、今回の調査では鋤先痕以外は特筆すべきものはなかつた。

表3 横手湯田V遺跡 第1面中世水田 畦畔計測表

計測値の()は推定値

番号	位置	下幅(cm)	高さ(cm)	走行方位	番号	位置	下幅(cm)	高さ(cm)	走行方位
1	北区(8)	(118~128)	12~17	(N - 7° - E)	11	南区(10)	(50~62)	5~16	(N - 28° - W)
2	北区(2)	(100)	4~6	不明	12	南区(12)	(80~89)	8~10	(N - 80° - W)
3	北区(3・4)	(54~102)	4~8	(N - 13° - E)	13	北区(13)	(48~62)	10~14	(N - 4° - W)
4	北区(6)	(60)	6	不明	14	北区(15)	(40~64)	8~12	(N - 10° - W)
5	北区(9)	(32~44)	2~6	不明	15	北区(20)	(113)	10~12	(N - 15° - W)
6	北区(12)	(34~50)	3~6	(N - 21° - E)	16	北区(20)	(122)	6~18	不明
7	南区(3)	(79~80)	5~9	(N - 14° - W)	17	南区(16)	(90)	4~10	(N - 3° - W)
8	南区(4)	(68~72)	2~6	(N - 1° - W)	18	南区(18)	(94)	7~15	(N - 0°)
9	南区(5)	(52~84)	4~10	(N - 14° - W)	19	南区(20)	(62)	14	不明
10	南区(6)	(62)	5~7	不明	20	南区(21)	(122~158)	6~14	(N - 0°)

表4 横手湯田V遺跡 第2面浅間B軽石下水田 畦畔計測表

計測値の()は推定値

番号	位置	下幅(cm)	高さ(cm)	走行方位	番号	位置	下幅(cm)	高さ(cm)	走行方位
1	南区(1)	57~73	2~4	N - 85° - W	18	北区(11・12)	50~223	2	N - 3° - E
2	南区(2)	58~92	2~4	N - 0°	19	北区(12)	51~172	2~3	N - 5° - W
3	南区(2)	42~47	3	N - 79° - E	20	南区(8)	114~147	2~3	N - 30° - W
4	南区(2・3)	50~56	3~6	N - 6° - W	21	南区(10)	98~108	3~4	N - 0°
5	南区(3)	42~59	1~2	N - 0°	22	南区(15)	100~110	2~3	N - 81° - W
6	南区(4)	80~110	1~3	N - 5° - W	23	北区(20)	不明	3~4	N - 15° - W
7	南区(4)	30~48	1	N - 6° - W	24	北区(17・18)	40~50	6	N - 84° - W
8	南区(6・7)	65~86	3~4	N - 7° - W	25	北区(17)	50	1~4	N - 13° - E
9	南区(7)	147~160	4~5	N - 4° - W	26	北区(16・17)	55~60	3~4	N - 80° - W
10	北区(3)	108~134	2~10	N - 18° - E	27	北区(16)	56	1	N - 73° - W
11	北区(3)	54~66	1~3	N - 11° - E	28	北区(16)	65~82	1~6	N - 6° - E
12	北区(4)	50~68	5	N - 19° - E	29	北区(15)	44~70	4	N - 9° - E
13	北区(5)	31~58	2~5	N - 5° - E	30	北区(13)	39~74	1~3	N - 4° - W
14	北区(5)	51~63	5~6	N - 6° - E	31	南区(20)	41~64	1~4	N - 0°
15	北区(6)	50~64	6~8	N - 18° - W	32	南区(18・19)	不明	1~3	N - 83° - W
16	北区(8)	88~105	1~4	N - 3° - E	33	南区(18・19)	不明	1~3	N - 2° - W
17	北区(10)	73~218	3	N - 7° - W	34	南区(18・19)	不明	1~3	N - 89° - E

表5 横手湯田V遺跡 第3面F P下 畦畔状遺構計測表

計測値の()は推定値

番号	位置	下幅(cm)	高さ(cm)	走行方位	番号	位置	下幅(cm)	高さ(cm)	走行方位
1	北区(6)	28~38	2~4	N - 3° - E	3	南区(4)	52	3~5	N - 16° - W
2	北区(6)	(40)	2~3	不明					

表6 横手湯田V遺跡 第4面F A下水田 畦畔計測表

計測値の()は推定値

番号	位置	下幅(cm)	高さ(cm)	走行方位	番号	位置	下幅(cm)	高さ(cm)	走行方位
1	北区(5)	50~85	11~19	N - 8° - W	5	南区(8)	80	3~11	N - 35° - W
2	南区(3・4)	72~84	1	N - 23° - W	6	北区(6)	36~46	5~6	N - 0°
3	南区(7)	110~256	3~40	N - 62° - W	7	北区(6)	32~38	1	N - 2° - W
4	南区(7)	62~84	9~13	N - 45° - W	8	北区(6)	不明	2~3	N - 66° - E

表7 横手湯田V遺跡 第4面F A下水田 水田面積計測表 1面積の()は残存値 計測値の()は推定値

番号	面積(m ²)	標高(m)	長軸×短軸(cm)	番号	面積(m ²)	標高(m)	長軸×短軸(cm)	番号	面積(m ²)	標高(m)	長軸×短軸(cm)
1	(1.02)	79.33	137+a×37+a	11	(1.12)	79.31	110+a×105+a	21	2.18	79.30	186×120
2	(1.87)	79.33	132+a×90	12	(1.43)	79.32	130+a×120	22	(0.22)	79.31	25+a×100+a
3	(2.39)	79.32	180+a×130	13	(2.00)	79.32	150+a×150	23	(0.51)	79.30	54+a×120+a
4	(1.79)	79.32	140+a×145	14	(2.46)	79.30	194+a×145	24	(1.07)	79.30	80+a×110
5	(1.38)	79.36	98+a×152	15	(2.79)	79.31	200+a×142	25	(0.75)	79.30	85×100
6	(1.11)	79.32	90+a×150	16	2.92	79.32	200×145	26	(1.85)	79.30	120+a×150
7	(1.25)	79.32	120+a×112	17	2.26	79.31	200×105	27	(2.06)	79.32	182+a×(115)
8	(0.94)	79.32	90×128	18	2.49	79.31	198×125	28	(1.65)	79.31	145+a×135
9	(0.77)	79.32	60+a×154	19	2.67	79.31	190×140	29	(1.13)	79.31	105+a×110
10	(0.93)	79.33	30+a×50+a	20	2.40	79.30	205×120	30	(1.15)	79.31	85+a×105

表8 横手湯田V遺跡 第4面FA下水田 水田面積測定表2 面積の()は残存値 計測値の()は推定

番号	面積(m ²)	標高(m)	長軸×短軸(cm)	番号	面積(m ²)	標高(m)	長軸×短軸(cm)	番号	面積(m ²)	標高(m)	長軸×短軸(cm)
31	(0.63)	79.29	55+a×145	61	2.21	79.09	165×145	91	(0.59)	78.93	100+a×75+a
32	(0.08)	79.30	15+a×50+a	62	(2.32)	79.05	175×150	92	(0.89)	78.94	60+a×150
33	(1.22)	79.28	145+a×90	63	(1.58)	78.99	115+a×190+a	93	(0.34)	79.00	45+a×78
34	(2.42)	79.30	170+a×160	64	(1.35)	79.08	120+a×130	94	(0.18)	79.05	25+a×80+a
35	(2.26)	79.30	205+a×117	65	(2.57)	79.05	180×160	95	(1.56)	78.92	190×75+a
36	3.14	79.30	208×155	66	3.09	79.01	174×160	96	3.10	78.94	215×145
37	2.97	79.27	200×145	67	2.99	78.99	200×140	97	1.46	79.00	220×70
38	3.15	79.28	200×155	68	(2.46)	78.95	195+a×150	98	(0.91)	79.03	210×70+a
39	(2.88)	79.27	200×158	69	(1.00)	78.96	112+a×100	99	(0.45)	78.88	50+a×90+a
40	(2.12)	79.28	160+a×150	70	(1.03)	79.02	85+a×122	100	(0.91)	78.91	60+a×150
41	(1.25)	79.27	120+a×120	71	(0.88)	79.03	68+a×134	101	(0.68)	78.99	85+a×90
42	(1.00)	79.28	85+a×158	72	(1.12)	79.06	80+a×145	102	(0.11)	79.01	95+a×20+a
43	(0.30)	79.28	45+a×110+a	73	(0.07)	79.05	20+a×40+a	103	(1.64)	78.97	190+a×118
44	(0.07)	79.30	10+a×40+a	74	(1.10)	79.01	70+a×155	104	(1.71)	78.98	150×110
45	(0.55)	79.28	50+a×85+a	75	(1.72)	78.97	135+a×145	105	(1.49)	78.97	122×116
46	(1.16)	79.27	70+a×150	76	(2.22)	78.95	170×135	106	(1.66)	78.99	160×112
47	(1.69)	79.26	115+a×140	77	1.44	78.94	190×80	107	(0.28)	78.97	60+a×55+a
48	(2.05)	79.27	160+a×140	78	1.73	78.99	180×100	108	(0.04)	78.94	15+a×25+a
49	(2.24)	79.27	185+a×125	79	2.06	79.00	188×128	109	(1.27)	78.93	105+a×152
50	2.23	79.27	180×170	80	2.10	79.06	176×125	110	(1.94)	78.94	150+a×120
51	(1.05)	79.26	170×110+a	81	(0.35)	78.95	20+a×150+a	111	2.34	78.95	190×125
52	(0.47)	79.25	40+a×155	82	(0.41)	79.01	35+a×125	112	(2.95)	78.97	190×150
53	(0.04)	79.23	65+a×20+a	83	(0.47)	79.04	45+a×120	113	(2.54)	78.97	212×128
54	(1.22)	79.22	105+a×125	84	(0.12)	79.15	50+a×50+a	114	(1.74)	78.96	175+a×100+a
55	(0.86)	79.22	100+a×96	85	(0.36)	79.14	35+a×120+a	115	(0.22)	78.95	25+a×65+a
56	(1.01)	79.24	100+a×110	86	(0.16)	79.15	70+a×50+a	116	(0.06)	78.95	60+a×40+a
57	(0.88)	79.24	115+a×80	87	(4.47)	79.14	235×190				
58	(1.18)	79.24	130+a×95	88	(2.96)	79.14	236×140				
59	(0.93)	79.10	90+a×135	89	(0.58)	79.13	60+a×100+a				
60	(0.03)	79.10	15+a×25+a	90	(0.99)	79.12	90+a×110				

表9 横手湯田V遺跡 土坑計測表1

番号	確認面	位置	長軸×短軸(cm)	深さ(cm)	備考	番号	確認面	位置	長軸×短軸(cm)	深さ(cm)	備考
1	第2面	南区(15)	100×96	43		21	第5面	北区(3)	112+a×170	5	
2	第1面	南区(2)	74×38+a	18		22	第5面	北区(3)	121×42+a	4	
3	第2面	南区(5)	230×82+a	23~56		23	第5面	北区(3)	55×48	7	石器剥片
4	第2面	南区(5)	139×110	65		24	第5面	北区(4)	105×55	6~14	
5	第2面	南区(6·7)	84+a×82	23		25	第5面	北区(4)	160+a×82	6~18	土器出土
6	第2面	北区(2·3)	142×134	32	土器出土	26	第5面	北区(4)	120×48	4~19	
7	第2面	北区(4)	140×133	54	土器出土	27	第5面	北区(4)	117+a×65	7~17	
8	第4面	北区(3)	200×97	15		28	第5面	北区(5)	110×52	6~17	土器出土
9	第4面	北区(3)	83×60+a	4		29	第5面	北区(5)	115×48+a	4	
10	第4面	南区(4)	111×100	74		30	第5面	北区(5)	138×35+a	4~10	
11	欠番					31	第5面	北区(7)	150×76+a	9	
12	第4面	南区(7)	158×80	9	土器出土	32	第5面	北区(10)	140×48	11	
13	第5面	北区(1)	93×75	8~17		33	第5面	南区(1)	100+a×70+a	6	土器出土
14	第5面	北区(2)	85+a×74	14		34	第5面	南区(1)	103×79+a	3	土器出土
15	第5面	北区(1)	358×97	9~14		35	第5面	南区(1)	120×98+a	8	土器出土
16	第5面	北区(2)	84×46	6		36	第5面	南区(1)	88×60	13	土器出土
17	第5面	北区(3)	75+a×65+a	1		37	第5面	南区(2)	68×53	9	
18	第5面	北区(3)	125+a×27+a	8		38	第5面	南区(2)	140×80+a	5	
19	第5面	北区(3)	70+a×66+a	4	土器出土	39	第5面	南区(2)	300×66+a	6	
20	第5面	北区(3)	87+a×21+a	2~7	土器出土	40	第5面	南区(3)	128+a×115	15	土器出土

表10 横手湯田V遺跡 土坑計測表2

番号	確認面	位置	長軸×短軸(cm)	深さ(cm)	備考	番号	確認面	位置	長軸×短軸(cm)	深さ(cm)	備考
41	第5面	南区(3)	68×54	21	土器出土	61	第2面	南区(18)	124×72	18	
42	第5面	南区(4)	121×111	40~58	土器出土	62	第2面	南区(18)	130×70	26	
43	第5面	南区(4)	148×100+a	9	土器出土	63	第5面	北区(21)	175×94+a	94	土器出土
44	第5面	南区(4)	118+a×94	7	土器出土	64	第5面	北区(21)	151×37+a	12	
45	第5面	南区(4)	52×50	13		65	第5面	北区(19)	113×29+a	12	
46	第5面	南区(5)	80×33	25		66	第5面	北区(15)	85+a×67	25	
47	第5面	南区(5)	178+a×162+a	8	土器出土	67	欠番				
48	第5面	南区(6)	100×68	4	土器出土	68	第5面	南区(20)	130+a×112	39	
49	第5面	南区(6)	270+a×186	6	土器出土	69	第5面	南区(19)	145+a×78	7	土器出土
50	第5面	南区(9)	80×34	5		70	第5面	南区(19)	94×70	7	土器出土
51	第5面	南区(9)	97×14	4		71	第5面	南区(17)	214×97	35	土器出土
52	第5面	南区(10)	121×39	22		72	第5面	南区(19)	98+a×46	5~9	
53	第5面	南区(10)	166×40+a	10		73	第5面	南区(18)	202+a×89	19	
54	第5面	南区(10)	131×42	1		74	第5面	南区(18)	80×35	8	
55	第2面	北区(20)	80×44	24		75	第5面	南区(16)	95×75	4	
56	第2面	北区(20)	148×62+a	7							
57	第2面	北区(17)	160×104	56							
58	第2面	北区(14)	144×76	44							
59	第2面	北区(14)	114×80	37							
60	第2面	北区(13)	73+a×78	21							

表11 横手湯田V遺跡 溝計測表1

番号	確認面	位置	幅(cm)	深さ(cm)	備考	番号	確認面	位置	幅(cm)	深さ(cm)	備考
1	第1面	南区(12)	164~254	29		31	第5面	北区(5)	30~102	13~22	土器出土
2	第2面	北区(2·3)	81~96	3~9		32	第5面	北区(5)	35~80	2~14	土器出土
3	第1面	南区(15)	228~270	75		33	第5面	北区(8)	13~32	5~12	土器出土
4	第2面	南区(14·15)	34~52	4~8		34	第5面	北区(8)	60~105	4~22	土器出土
5	第4面	北区(2·3)	52~68	6~12	土器出土	35	第5面	北区(9)	54~342	6~28	
6	第4面	北区(5)	71~81	14~18	土器出土	36	第5面	北区(12)	134~256	8~32	土器出土
7	第1面	北区(7)	(76~84)	6~17		37	第5面	北区(11~14)	18~52	2~9	土器出土
8	第1面	南区(2)	(186~208)	15~22		38	第5面	北区(12)	86~130	11~28	土器出土
9	第3面	南区(3·4)	27~39	5~9		39	第5面	南区(1~3)	24~35	8~10	土器出土
10	第4面	南区(12)	58~62	3~14		40	第5面	南区(1)	59~103	7~17	土器出土
11	第4面	南区(13·14)	46~56	3~9	土器出土	41	第5面	南区(1·2)	20~39	3~6	
12	第4面	北区(10)	60~96	9~29		42	第5面	南区(2)	13~19	2~4	
13	第5面	北区(2)	27~33	5	土器出土	43	第5面	南区(1·2)	7~19	3~7	土器出土
14	第5面	北区(2)	15~23	5	土器出土	44	第5面	南区(2)	11	4	
15	第5面	北区(2)	19~55	3~8		45	第5面	南区(2·3)	24~45	5~13	
16	第5面	北区(2)	12~57	4~10		46	第5面	南区(2·3)	50~110	21~33	土器出土
17	第5面	北区(2)	10~20	3~11		47	第5面	南区(5)	27~51	3~20	土器出土
18	第5面	北区(2)	9~24	2~8		48	第5面	南区(5)	78~194	3~7	
19	第5面	北区(2)	20~27	5~10	土器出土	49	第5面	南区(5)	59~91	5~11	土器出土
20	第5面	北区(2·3)	15~30	5~9		50	第5面	南区(5)	50~100	7~13	土器出土
21	第5面	北区(3)	28~34	5~23	土器出土	51	第5面	南区(5)	20~32	4~6	
22	第5面	北区(3)	15~62	1~9		52	第5面	南区(5)	14~28	14	
23	第5面	北区(3)	20~38	5~7	土器出土	53	第5面	南区(6)	19~37	7~12	
24	第5面	北区(3)	17~28	8~11		54	第5面	南区(6)	18~37	3~4	
25	第5面	北区(3)	12~25	1~9		55	第5面	南区(6)	18~56	4~6	
26	第5面	北区(3)	14~35	5~11		56	第5面	南区(6)	13~26	1~8	
27	第5面	北区(3)	20~31	9~12		57	第5面	南区(10·11)	38~160	10~29	土器出土
28	第5面	北区(3)	27~35	6~9		58	第5面	南区(14)	48~56	2~16	
29	第5面	北区(4)	102~170	5~11		59	第5面	南区(14)	88~120	3~23	
30	第5面	北区(4)	19~49	2~12	土器出土	60	第5面	南区(15)	66~120	8	土器出土

表12 横手湯田V遺跡 溝計測表2

計測値の()は推定値

番号	確認面	位置	幅(cm)	深さ(cm)	備考
61	第1面	北区(16)	178~260	55	陶磁器片
62	第5面	北区(20・21)	30~113	4~34	土器出土
63	第5面	北区(20・21)	103~121	12~18	土器出土
64	第5面	北区(20)	25~51	8~9	
65	第5面	北区(20)	54~109	10~13	土器出土
66	第5面	北区(20)	38~69	10~24	土器出土
67	第5面	北区(21)	12~17	1~3	
68	第5面	北区(21)	14~22	4~6	
69	第5面	北区(19)	19~42	6~9	
70	第5面	北区(19)	77~131	14~28	
71	第5面	北区(18)	16~32	5~10	
72	第5面	北区(18)	15~36	5~9	
73	第5面	北区(17)	9~12	5~10	
74	第5面	北区(17)	22~41	3~6	
75	第5面	北区(17)	15~37	2~8	
76	第5面	北区(16)	22~108	6~20	
77	第5面	北区(16)	9~21	6~7	
78	第5面	北区(16)	6~8	5~7	
79	第5面	北区(16)	13~55	8~9	
80	第5面	北区(16)	8~32	2~7	

番号	確認面	位置	幅(cm)	深さ(cm)	備考
81	第5面	北区(16)	12~15	5~6	
82	第5面	北区(16)	14~20	5	
83	第5面	北区(16)	10~15	6~7	
84	第5面	北区(16)	9~19	5	
85	第5面	北区(16)	7~16	2~7	
86	第5面	北区(16)	17~37	6~7	
87	第5面	北区(14)	20~65	6~21	
88	第5面	北区(14)	10~19	3~7	
89	第5面	北区(13)	15~34	4~6	
90	第5面	南区(17)	20~40	5~13	
91	第5面	南区(20)	12~19	7~14	
92	第5面	南区(19)	10~13	7	
93	第5面	南区(19)	16~50	5~13	
94	第5面	南区(19)	23~46	4~12	
95	第5面	南区(17)	47~78	11~18	
96	第5面	南区(20)	13~17	9	
97	第5面	北区(19)	30~40	5~9	

表13 横手湯田V遺跡 遺物観察表1

番号	器種	出土位置	法量(cm) ①口径 ②底径③器高	①胎土②色調③焼成	成・整形技法の特徴等	残存状況
1	甕	D-34	①(9.2)	①砂粒②灰白③酸化	口縁部内・外面横ナデ	口縁部1/5
2	甕	D-34	①(15.2)	①砂粒、赤褐色粒、結晶片岩②淡赤橙③酸化	S字状口縁、口縁部内・外面横ナデ、胴部外面刷毛目、内面横ナデ	口縁部1/6
3	台付甕	D-40	①(14.0) ②8.3 ③17.0	①砂粒、結晶片岩 ②灰黄褐③酸化	S字状口縁、口縁部横ナデ、胴部外面刷毛目、胴部上位に横方向の刷毛目	1/2
4	高坏	D-40	②(13.2)	①砂粒、赤褐色粒 ②灰白③酸化	脚部に3ヶ所の円形透かし、脚部外面縦方向の刷毛目、内面横方向の刷毛目、裾端部内・外面横ナデ	脚部
5	器台	D-43		①砂粒、赤褐色粒 ②にぶい橙③酸化	脚部外面横ナデ	脚部1/3
6	壺	D-63		①砂粒、赤褐色粒 ②浅黄橙③酸化	胴部内面ヘラケズリ	胴部
7	甕	D-63	①(16.5)	①砂粒、赤褐色粒 ②にぶい黄橙③酸化	口縁部内・外面横ナデ、頸部外面縦方向の刷毛目、内面横方向の刷毛目、胴部外面横方向の刷毛目	口縁部～胴部上半2/3
8	壺	D-63	①(12.5)	①砂粒、赤褐色粒 ②橙③酸化	口縁部内・外面横方向の刷毛目、頸部外面斜方向の刷毛目	口縁部
9	甕	D-63	①(14.0)	①粗砂粒、赤褐色粒 ②にぶい橙③酸化	口縁部内・外面横ナデ、胴部横方向の刷毛目	口縁部1/2
10	甕	D-63	①(10.4)	①砂粒、赤褐色粒 ②にぶい橙③酸化	口縁部外面横ナデ、内面刷毛目、その後横ナデ、胴部外面刷毛目、内面ナデ	口縁部～胴部1/5
11	甕	D-63	①(12.8)	①砂粒、赤褐色粒 ②にぶい橙③酸化	胴部外面刷毛目、口縁部外面横ナデ、内面横方向の刷毛目、その後ナデ、胴部内面刷毛目	口縁部～胴部1/5
12	台付甕	D-63		①砂粒、赤褐色粒 ②灰白③酸化	台部外面ナデ	底部
13	埴	D-63	①8.3	①粗砂粒、赤褐色粒 ②橙③酸化	口縁部内・外面ナデ	口縁部
14	高坏	D-63	②(10.6)	①砂粒、赤褐色粒 ②にぶい黄橙③酸化	脚部3ヶ所に円形透かし、脚部外面縦方向のヘラミガキ、内面横方向のヘラミガキ、裾端部外面横ナデ	脚部
15	壺	W-23		①細砂粒②灰白③酸化	肩部外面横方向の櫛描き簾状文、その後下位に斜方向の櫛描き文	頸部～肩部
16	甕	W-32	①(16.0)	①砂粒②にぶい黄橙 ③酸化	S字状口縁、口縁部内・外面横ナデ、胴部外面刷毛目	口縁部1/5
17	甕	W-46	①11.8	①粗砂粒②にぶい橙 ③酸化	輪積み痕あり	底部欠
18	甕	W-46	①(15.7)	①砂粒、赤褐色粒 ②灰黄褐③酸化	S字状口縁、口縁部内・外面横ナデ、胴部外面刷毛目	口縁部1/5

表14 横手湯田V遺跡 遺物観察表2

番号	器種	出土位置	法量(cm) ①口径 ②底径③器高	①胎土②色調③焼成	成・整形技法の特徴等	残存状況
19	甕	W-46		①砂粒②褐灰③酸化	胴部外面刷毛目	胴部下半
20	壺	リ-1-南	①(14.6) ②6.0 ③19.5	①細砂粒、赤褐色粒、輝石多量②灰黄③酸化	頸部外面横方向の櫛描き簾状文、肩部外面櫛描き羽状文、その下位に櫛描き波状文、内面横ナデ	口縁部4/3欠
21	甕	リ-1-北	①(13.9)	①砂粒②灰黄褐 ③酸化	口縁部内面刷毛目、頸部内面横ナデ、口縁部～頸部外面斜方向の刷毛目、その後口縁部横ナデ、胴部外面刷毛目、その後上半横ナデ、胴部内面ナデ	口縁部～胴部1/3
22	甕	リ-1-南	②9.0	①砂粒②橙③酸化	胴部外面刷毛目、その後ヘラミガキ、胴部内面刷毛目	胴部～底部
23	埴	リ-1-北	②(3.2)	①砂粒、赤褐色粒 ②にぶい橙③酸化	底部内面指頭圧痕あり、頸部内面横ナデ、胴部上半外面横ナデ	口縁部欠
24	坏	北-V-(2)	①(12.4)	①砂粒、赤褐色粒 ②橙③酸化	口縁部内・外面横ナデ	1/6
25	壺	南-V-(2)		①砂粒②浅黄橙 ③酸化	摩耗激しい、輪積み痕あり	頸部1/2
26	高坏	南-V-(3)		①砂粒、赤褐色粒、黑色粒②淡黄③酸化	内面輪積み痕あり	脚部
27	高坏	南-V-(2)		①砂粒、赤褐色粒 ②橙③酸化	脚部外面横ナデ	脚部1/2
28	石器 打製石斧	北	長さ：13.5 幅：7.5 厚さ：2.6 重さ：280g 石材：黒色頁岩			
29	縄文土器 鉢	南-V-(2)		①細砂粒、赤褐色粒 ②浅黄橙③酸化	沈線により文様帶を区画、区画内は磨り消し縄文	胴部片
30	縄文土器 鉢	南-V-(2)		①細砂粒、赤褐色粒 ②浅黄橙③酸化	沈線により文様帶を交互に区画、区画内は磨り消し縄文	胴部片
31	縄文土器 鉢	南-V-(2)		①細砂粒、赤褐色粒 ②浅黄橙③酸化	沈線により文様帶を交互に区画、区画内は磨り消し縄文、最上部沈線の始発部に刺突文、口縁部内湾	口縁部片

表15 徳丸仲田IV遺跡 第1面浅間B軽石下水田 畦畔計測表

番号	位置	下幅(cm)	高さ(cm)	走行方位	番号	位置	下幅(cm)	高さ(cm)	走行方位
1	A区	95~150	4	N-25°-W	3	A区	50~82	5	N-26°-W
2	A区	100~127	7	N-23°-W	4	B区	78~140	4	N-15°-W

表16 徳丸仲田IV遺跡 鋤先痕計測表

番号	確認面	位置	幅(cm)	深さ(cm)	走行方位	備考
1	第1面	A区	20~30	4~7	N-4°-W	浅間B軽石降下後、中世か

表17 徳丸仲田IV遺跡 溝計測表

番号	確認面	位置	幅(cm)	深さ(cm)	備考	番号	確認面	位置	幅(cm)	深さ(cm)	備考
1	欠番					8	第3面	B区	130以上	26~37	
2	欠番					9	第2面	B区	19~48	5~16	
3	欠番					10	第2面	B区	25~32	4~5	
4	第3面	B区	420 + α	81~95		11	第2面	B区	12~28	3~5	
5	欠番					12	第2面	B区	33~55	13~17	
6	第2面	B区	286~342	28~47	木製品・土器	13	第2面	B区	24~38	3~6	
7	第3面	B区	81~85	38~47		14	第3面	B区	1395~1486	52~92	

表18 徳丸仲田IV遺跡 不明遺構計測表

番号	確認面	位置	幅(cm)	高さ(cm)	走行方位	番号	確認面	位置	長軸×短軸(cm)	深さ(cm)	備考
1	第1面	A区南北	563~626	3	N-7°-W	2	第2面	B区	136+α×54+α	92	土器出土
		A区東西	210~268	5	N-80°-E	3	第2面	B区	135×102	22	

表19 徳丸仲田IV遺跡 遺物観察表

番号	器種	出土位置	法量(cm) ①口径 ②底径③器高	①胎土②色調③焼成	成・整形技法の特徴等	残存状況
1	坏	F-2	①13②8.2③2.9	①細砂粒②にぶい黄橙 ③酸化	底部外面ヘラケズリ、内面ナデ	2/3
2	木製品	W-6		長さ：33.1 幅：5.5 厚さ：2.8 樹種：モミ属 木取り：柾目		

横手湯田V遺跡

図版
1
遺構写真



1. 基本層序（南→）



2. 第1面中世水田9号畦畔土層断面（北→）



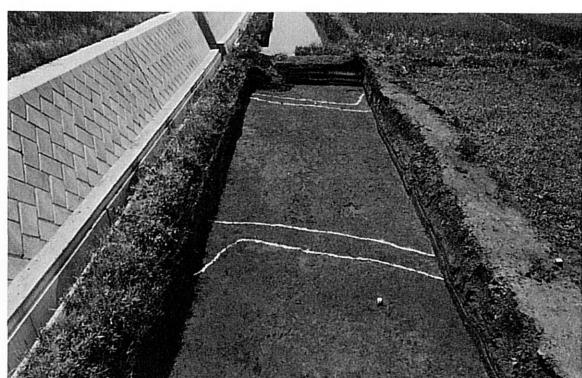
3. 第2面浅間B軽石下水田30号畦畔土層断面（南→）



4. 第2面北区西侧浅間B軽石下水田全景（西→）



5. 第2面北区中央西浅間B軽石下水田全景（西→）



6. 第2面北区中央東浅間B軽石下水田全景（東→）



7. 第2面北区東側浅間B軽石下水田全景（西→）



8. 第2面南区西端浅間B軽石下水田全景（東→）

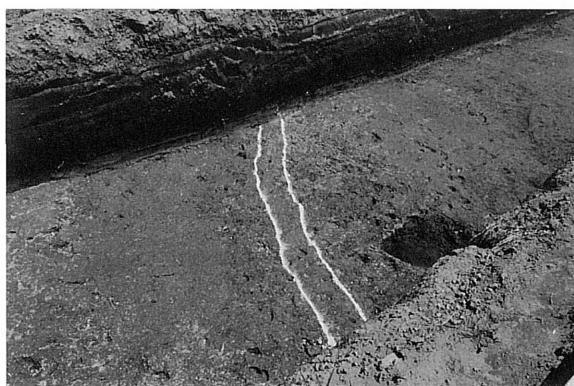
横手湯田V遺跡



1. 第2面南区中央西浅間B軽石下水田全景（西→）



2. 第2面南区東側浅間B軽石下水田全景（東→）



3. 第3面1号畦畔状遺構全景（南西→）



4. 第3面9号溝・3号畦畔状遺構土層断面（北→）



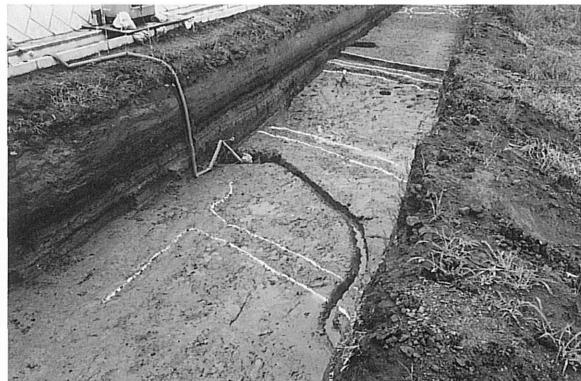
5. 第4面F A下水田空撮全景

横手湯田V遺跡

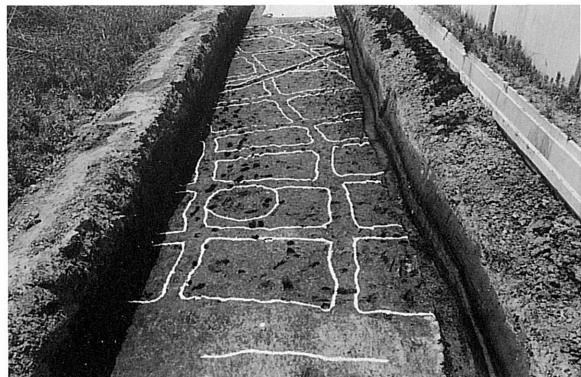
図版3 遺構写真



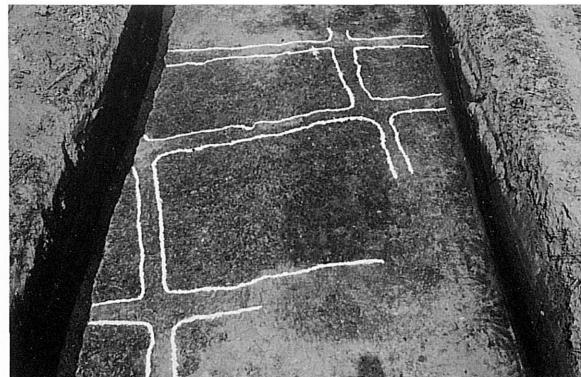
1. 第4面北区西側FA下水田全景（西→）



2. 第4面北区1・6～8号畦畔全景（北東→）



3. 第4面南区西側FA下水田全景（東→）



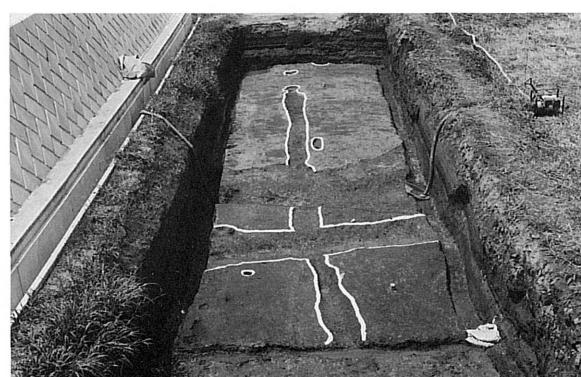
4. 第4面南区中央西FA下水田全景（西→）



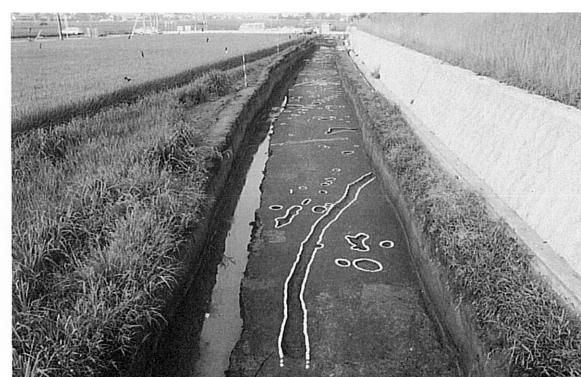
5. 第5面北区西側全景（西→）



6. 第5面北区中央西全景（西→）

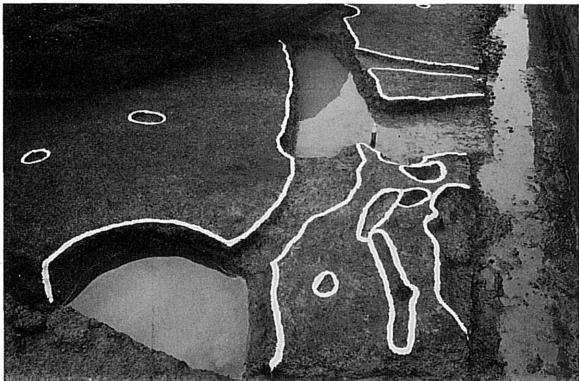


7. 第5面北区中央東全景（東→）

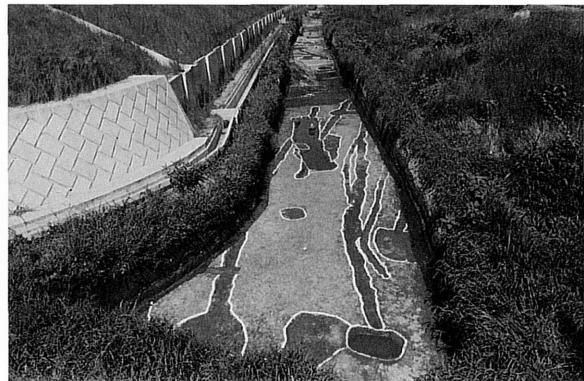


8. 第5面北区東側全景（西→）

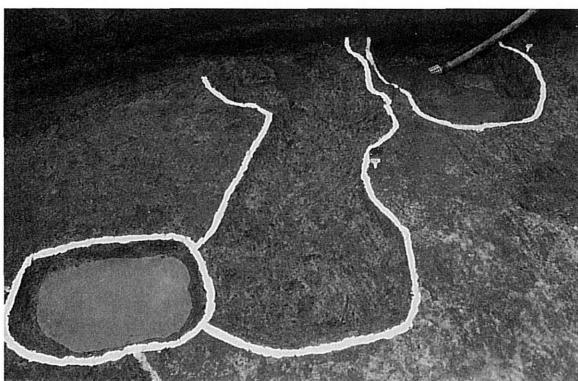
横手湯田V遺跡



1. 63・64号土坑62～64・67・68号溝全景（東→）



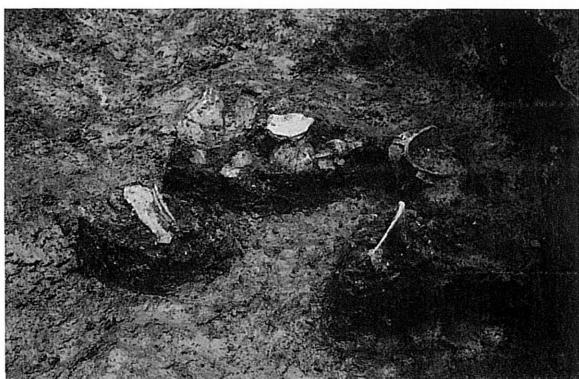
2. 第5面南区西側全景（西→）



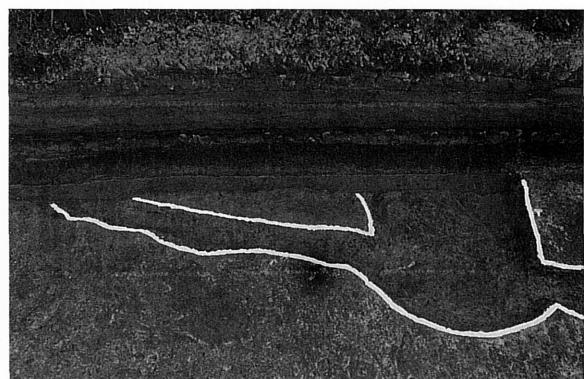
3. 34・36号土坑・40号溝全景（東→）



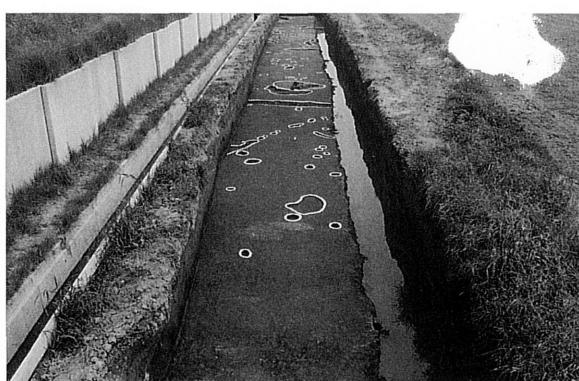
4. 46～49号土坑・47～56号溝全景（西→）



5. 40号土坑出土遺物（西→）



6. 40号土坑全景（北→）



7. 第5面南区東側全景（西→）

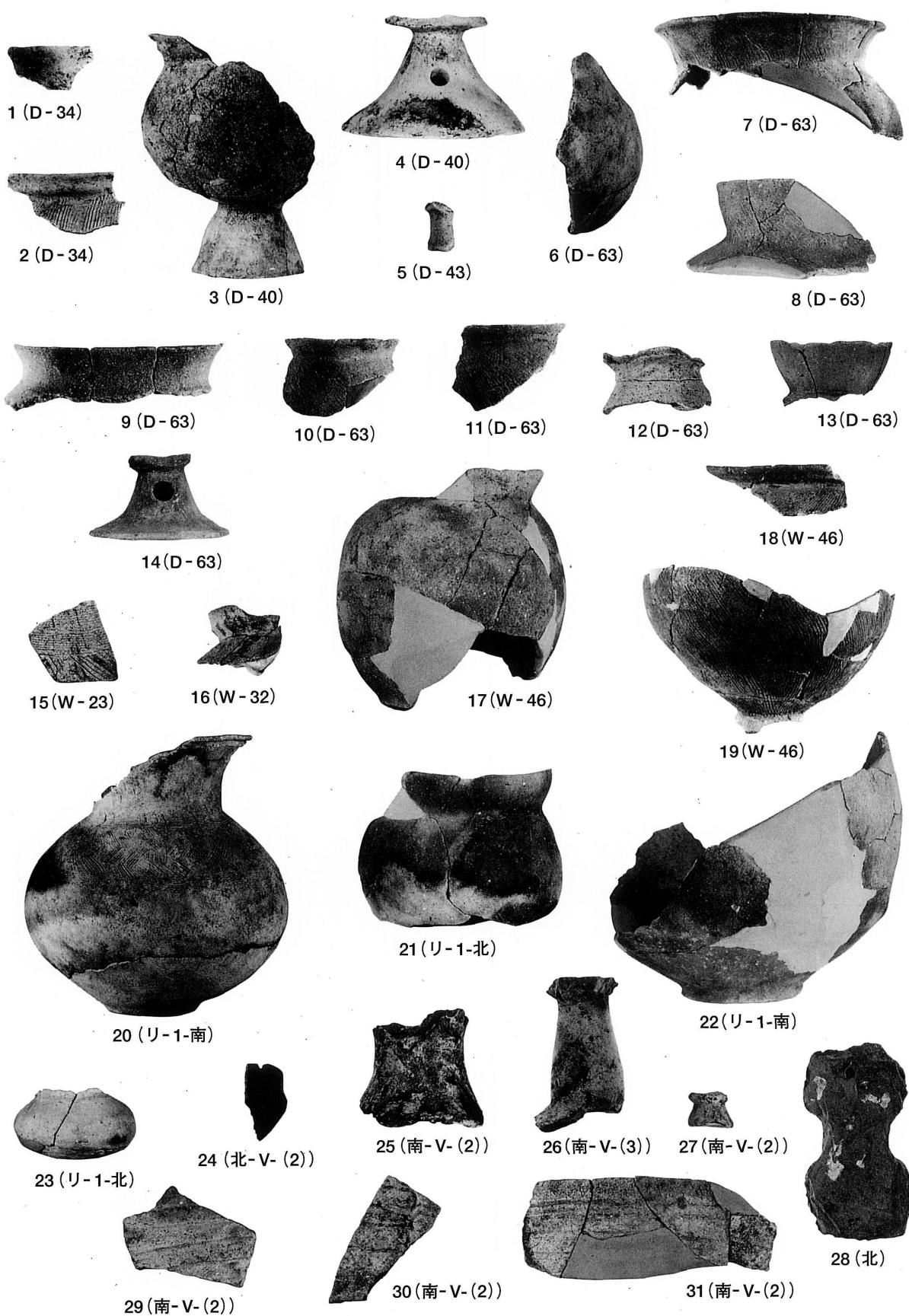


8. 1号流路（南区）出土遺物（東→）

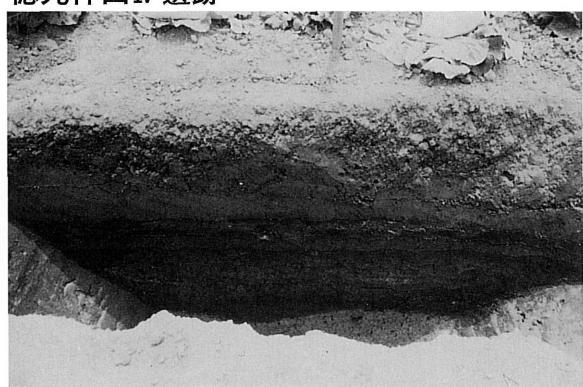
横手湯田V遺跡

図版
5

遺物写真



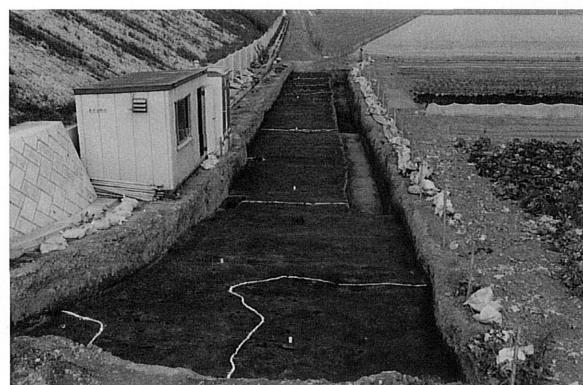
出土遺物



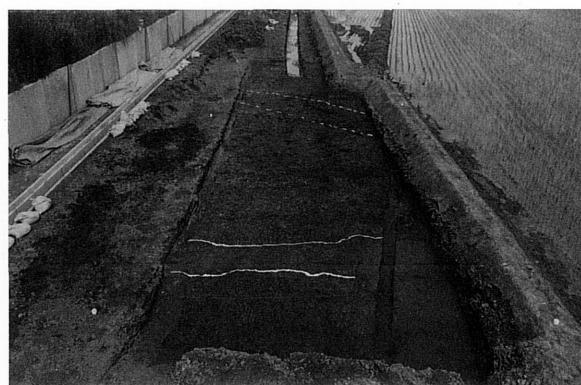
1. 基本層序（北→）



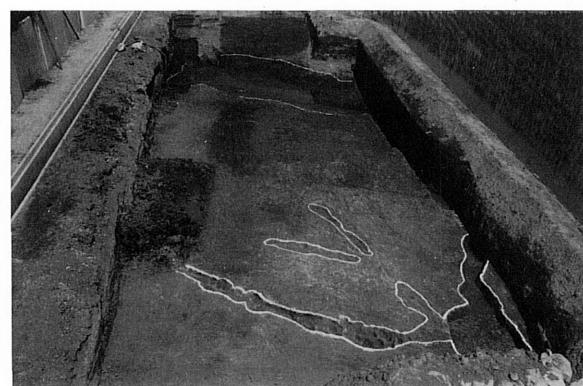
2. 第1面A区1号鋤先痕全景（北→）



3. 第1面A区浅間B軽石下水田全景（西→）



4. 第1面B区西側浅間B軽石下水田全景（西→）



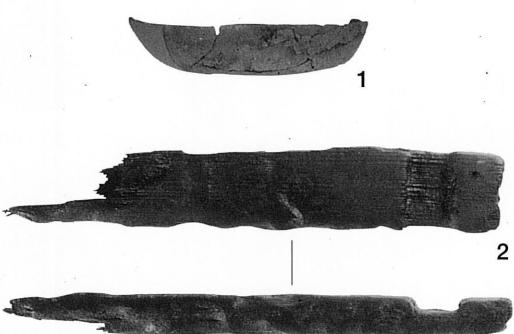
5. 第2面B区西側浅間B軽石混土層上全景（西→）



6. 第3面4・7・8号溝全景（北→）



7. 第3面14号溝全景（北→）



出土遺物

出土遺物及び図面等の取り扱いについて

項目	内容	
水洗い	<ul style="list-style-type: none"> すべて行った。 	
注記	<ul style="list-style-type: none"> インクジェットプリンターを使用した。 遺跡略号（12G-34：横手湯田V遺跡、12G-37：徳丸仲田IV遺跡） 出土遺構（D：土坑、W：溝、リ：流路、フ：不明遺構） 出土位置（北：北区、南：南区、（ ）付番号：任意杭番号） 出土層位（I：第1面、II：第2面、III：第3面、IV：第4面、V：第5面） 土器細片については、同様の内容を収納したビニール袋に明記した。 	
復元	<ul style="list-style-type: none"> 接合は可能な限り行った。必要に応じてエポキシ樹脂を充填し、強度的に必要な最小限の復元を行った。 	
実測	<ul style="list-style-type: none"> 遺物実測図は報告書掲載分についてのみ作成した。 	
台帳	<ul style="list-style-type: none"> 遺物台帳・図面台帳・写真台帳があり、それぞれ資料の検索が可能であるよう作成した。 	
保管方法	出土遺物	<ul style="list-style-type: none"> 出土遺物は、報告書使用と未使用に分け、コンテナあるいはダンボール箱に収納した。徳丸仲田IV遺跡から出土した木については、バキュームシーラーにより、真空パックを行ない、ビニールにて梱包、収納した。また、各箱には収納内容を明記した。 なお、遺物については、注記番号・台帳番号・報告書掲載番号の3種類が存在するが、基本的に報告書掲載番号を優先して記載・収納している。
	図面	<ul style="list-style-type: none"> 遺構実測図と遺物実測図に分け、それぞれ図面ケースに収納した。
	写真	<ul style="list-style-type: none"> 遺構写真は、モノクロ35mm、カラーリバーサル35mm、カラーコンパクトカメラフィルム、モノクロ6×6cm（空撮写真）の4種類がある。 遺物写真は、報告書掲載分についてのみモノクロ6×7cmフィルムを使用して撮影を行った。なお、写真中の番号は、遺物の台帳番号である。

北関東自動車道側道道路改良事業
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

横手湯田V遺跡 徳丸仲田IV遺跡

印刷 平成13年3月5日

発行 平成13年3月9日

編集 山武考古学研究所

発行 前橋市埋蔵文化財発掘調査団

印刷 (株) 文化総合企画

TEL 0476(93)0593

横手湯田V遺跡 徳丸仲田IV遺跡正誤表

頁	行	誤		正
1	表 1	遺跡名	遺跡名	遺跡名
			横手湯田遺跡	横手湯田遺跡
			横田湯田II遺跡	横手湯田II遺跡
			横田湯田III遺跡	横手湯田III遺跡
			横田湯田IV遺跡	横手湯田IV遺跡
			横田湯田V遺跡	横手湯田V遺跡
3	表 2	番号	遺跡名	遺跡名
			1 横田湯田V遺跡	横手湯田V遺跡
6	第6図		任意基準杭設定図	任意基準杭設定図
7	8		北区で3条	北区で2条
7	8		7・98号	7号
7	12		土坑7基	土坑6基
21	14		行った。3号	行った。2号
22	表 3	番号	走行方位	走行方位
			5 不明	(N-4°-E)